顧問　大隈重信　會長　島田三郎
同　森村市左衛門　副會長　安部磯雄

廓清

第六卷　第拾壹號

□廓清時言……………………伊藤江南
□切なる母の叫び……婦人矯風會頭　矢島楫子
□飲酒問題と社會…早稻田大學教授　安部磯雄
□南米の賣淫取締に就て……古　弦
□教育ある婦人の貞操觀…文學博士　吉田熊次
□女學生の倫理觀……內閣統計官　横山雅男
□廓清の三綱……………………西内天行
□裏長屋の精神修養……文學士　三輪田元道
□丸山保安部長の說を許す…伊藤江南
□遊廓物語…………婦人救濟係　伊藤富士雄
□人生と宗教……………牧師　植村正久
□飛田遊廓設置反對運動……隆之助
□廓清春秋……………………河合北洲

東京　廓清會本部發行

（明治四十四年九月十一日第三種郵便物認可）
（大正五年十一月一日納本）（毎月一回一日發行）

3—927

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ライオン歯磨は何故良いか

【一】ライオン歯磨は成分の粉末が非常に細かい。

粉末の細かい歯磨は何故良いかと申すに、歯の衛生を心得て、朝夕食後に、一日少なくとも三度宛歯磨を使用するに於ては、是非共粉末の最も細かいものを選擇しなければならない。さうしないと幾ら堅固な歯の表面(琺瑯質)でも磨耗してしまふからである。

【二】ライオン歯磨の原料は吟味精撰してある。

之は各種歯磨の顯微鏡的比較檢査の結果、確實なる憑據に立つて斷言するのである。事實、ライオン歯磨本舗には專門技師並に歯科醫師の最良歯磨原料と認めたものを採擇するのに、有らゆる纖細の注意と、苛酷と思はれる程の試驗を施してゐる始末である。

【三】ライオン歯磨の調合は最も學理的である。

ライオン歯磨は最も學理的に調合してあるから、唯其粉末が口腔歯牙に觸るれば、いつでも化學的、物理的の微妙な作用を呈して、自ら清掃・防腐・殺菌・制酸・收斂の諸効を全うする特長があるのである。

【四】ライオン歯磨の成分は最も均整してゐる。

本舗獨得の製造機械の完全さ、多年に亙る技術上の熟練とは、ライオン歯磨の原料、香料、藥品等、成分の合理的均整を示してゐる。之は製品の完全を意味し、随つて効果の的確を保證するものである。

【五】ライオン歯磨は大人にも子供にも適してゐる。

ライオン歯磨は神經の過敏な婦人小兒の歯牙口腔に觸れても悪い刺戟の起らないやうに、歯觸り舌觸り及び香や色までも悉く感じの好いやうに精製してあるから、歯磨を使ふ良習慣を附けるにも、又此良習慣を守つて行くにも、ライオン歯磨ほど想理的なものはない。

【六】ライオン歯磨は趣味高尙で實用的である。

ライオン歯磨の品質は、原料の嚴撰、製法の忠實親切、其他些細の點に至るまで充分の用意を盡くしてあるから、如何なる上流の家庭に入るとも、必ず相應はしい調和を見るのである。さりとてライオン歯磨は飽くまで衛生實用の見地を離れないから、卯の毛程も虚飾的な分子はなく、常に米の飯同様一般萬人向に使用されるのである。

【七】ライオン歯磨は歯科醫諸君公認の歯磨である。

ライオン歯磨は二十有五年の長い經驗に於て種種なる試みを致し、研究を遂げ、常に歐米最新の學説を採用するを怠らず、又常に歯科醫界の權威に質すことを忘れず、苟くも改良の施すべき餘地ある時は直ちに猛進して改良し、刷新し、理想的にし、模範的にし、遂に今日全國歯科醫諸君の賞讃推薦せらるゝ國産惟一の純良歯磨となつたのである。

【八】ライオン歯磨は信用販路共に世界的である。

ライオン歯磨には既に品質の純良あり、價格の一般向實用的なるあり、其結果として信用は世界的に博大となり、販路は世界的に廣大となつて、内地販賣額は最高位を占め輸出額は最高率を示してゐるのである。それは内外各地の展覽會評や、公平無私なる大藏省主税局の調査に照らしても明白なる事實である。

本舗 東京 小林富次郎

奉祝

皇太子迪宮裕仁親皇殿下

清秋爛闌の節を以て立太子禮を行はせ給ふ靈菊玉庭に欽賀し、嘉稲田野に抃舞す。瑞氣滿地、四海一如、神人歡絶之盛儀也。

允文允武　今上天皇陛下

昨秋即位の大典を擧げ今玆天資英邁の儲貳を定め給ふ。金甌無缺の國運は愈與天壤無窮與日月光耀。虔みて賀辭を捧げ奉る。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廓　　清
THE PURITY.

大正五年十一月

第六巻　第十一號

廓清時言

寺内内閣の出現

大隈内閣は遂に總辭職をなして寺内内閣成立す。善政主義の内閣は責任内閣に非ず、超然主義の内閣は國民に基礎を有せず、寺内内閣が歡迎す可きものなりや否や意見なきに非ずと雖も、廓清會は素是れ政治結社に非ず、要は國家の風敎を廓清するにありて、吾人の理想を實現する者は卽ち援く可く、吾人の主張に反する者は卽ち擊つ可し、其政友會内閣たると、憲政會内閣たると、超然内閣たるとは我に於て何かあらん。此見地より新内閣を見るに寺内首相の嚴正と人氣取りの後藤内相とは必ずしも悲觀す可からざるに似たり。吾人は非新格内閣が却つて殘したる秕政の一なる飛田問題の解決を此内閣に期待して、以て吾徒の新内閣に對する向背の試金石たらしめんとす。

新内閣は實に此問題に對しては何等情實と行掛りとを有する事なし、前内閣が徒らに威信の僞善に囚はれて、自ら非違を悟りつゝ取消す能はざりしに對し、最も公正なる斧鉞を下し得るの地位にあり。されば吾人は茲に飛田問題の解決を要望し刮自して會員の監視を乞はん。

奇想天外の醜事

福井民友新聞は記者六名を選拔して私娼買を行はせ、豫め之を電話にて警察へ通告し置き、巧みに警察が檢擧するか、記者が上手に淫賣を買ふかといふ實に奇想天外の醜惡なる腕比べを始め、其結果を紙上に發表しつゝあり。人世を侮辱し、人格を蹂躪する蓋し如斯は眞に稀也。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

行政の機關を弄ぶ警察官と、破廉恥極まる社會の木鐸たるべき新聞紙と其操觚者との行爲に對し、福井市民は其面上に唾せらるゝよりも甚しき侮辱を感せざるか、風敎問題に理解ありとして吾人の注目し來りたる某警察部長は夫健在なりや

敢て花の日會に告ぐ

花の日會が曩に私娼救濟をなさんとするや、吾人は貴婦人空前の事として之を感謝すると共に、進んで公娼の救濟に當るべきを慫慂したり。然るに今私娼救濟の經過を見るに、最初五人の私娼送達方を象潟署に依囑し、同署は二ケ月を費して候補者を得る能はず、三千餘の私娼中より辛うじて一人を得て、此程花の日會に送り届けたりといふ。泰山鳴動して鼠一疋とは卽ち是れ。

救濟上に何等の研究と定見とを有せず、漫然たる同情の結果の失敗に歸す可きは當然の事也。花の日會にして眞に彼等の境遇を哀憐するの誠意あらば、何故に更に慘虐なる鞭の下に日夜慟哭しつゝある公娼に手を觸れざる乎、若し諸姉が警視廳と象潟署の助力を得たる如く、警視廳と日本堤署との助力を得て公娼を救ふ事とせんか、二ケ月を終へて一人の私娼を得たるに比し三日にして千人を得るの難きに非るに驚倒せむ

救濟上より觀たる公私娼

苟も救濟を口にする者は、公娼私娼によつて態度を一二にすべきに非ず、緩急の差は境遇の如何に由らざる可からず、私娼にして公娼よりも悲慘なる者あらば私娼卽ち救ふ可し、然れども大體に於ては公娼と私娼とは救濟上より觀て大なる差違を有す。卽ち公娼の年期は六ケ年にして私娼は一年に滿たず、公娼の身代金は三百金乃至千金に及び、私娼は百圓を限度とす。公娼は父母家族の犧牲となりて自ら好まざる賣淫をなすに反し、私娼は自ら墮落して好んで淫蕩の境遇に逍ふ

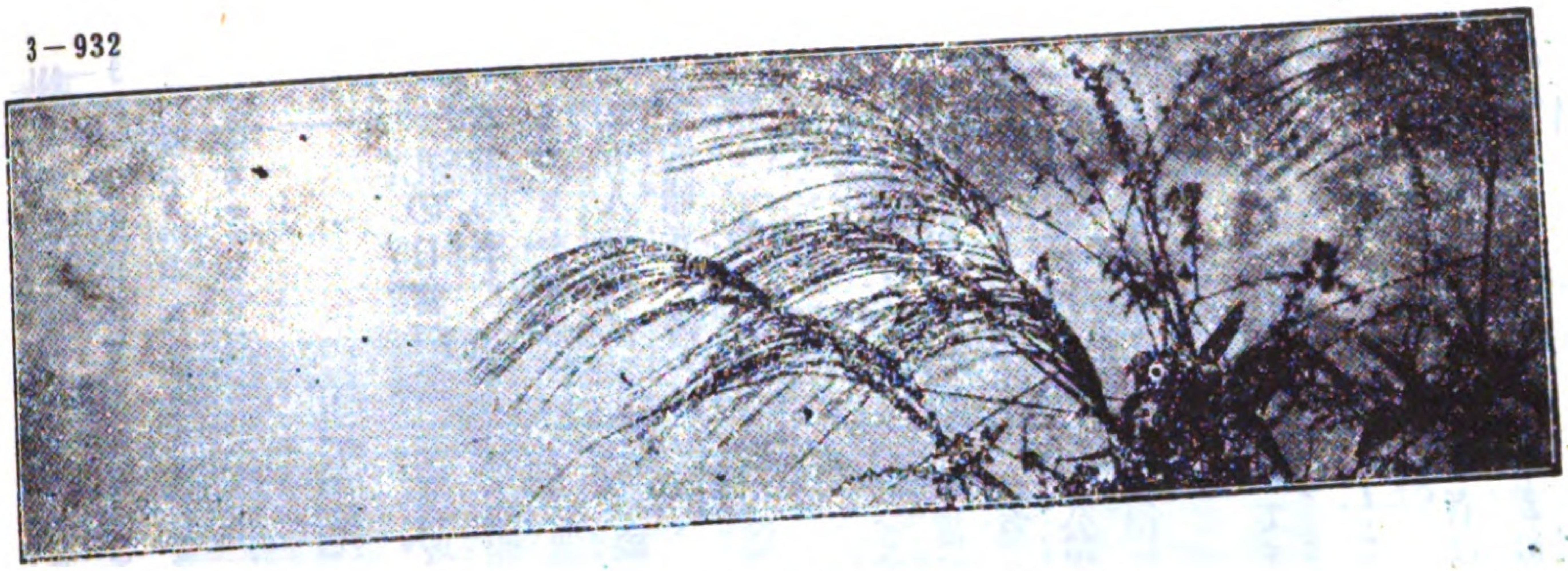
公娼は奴隷の境遇にありて殆んど絕對に廢棄の自由をも有せざるに、私娼は比較的自由を有し廢棄も又甚しく困難に非ず、公娼は其境遇を悲みて正業に復せん事を望みつゝあるに對し、私娼は其遊惰の生活を愛し生理的感興を有して其境遇を樂しむの狀あり、公娼の借金は著しく增加しつゝあるに對して私娼の借金は左程にもあらず、公娼は比較的感化遷善し易きに比し、私娼は其生活に比較的自由と興味とを有し居れる丈け感化は頗る困難なるの差あり。

然るに花の日會が、官憲の力を借り多數の日子を費して辛うじて一人を得てお茶を濁すの餘儀なき事實に對し、敢て同會と社會の一省を促す。

貞操問題と各工場

此程婦人矯風會が貞操問題講演團なるものを作り、貞操思想の鼓吹をなさんが爲め、東京に於ける大工場一百を選み、貴會社の男女職工に對し知名の士を送りて貞操問題の講演をなし度き故適當の時日を選定して貰ひ度しと往復葉書を出したるに、之に對し回答をなし來りたるは僅に十本にして、而も其十本中歡迎的に其申込に應じ來りたるは僅に一本に過ぎず、殘りの九本は悉く謝絕の手紙なりしといふ。可歎。(江南)

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY



切なる母の叫び

婦人矯風會々頭
廓清會副會長　矢島楫子

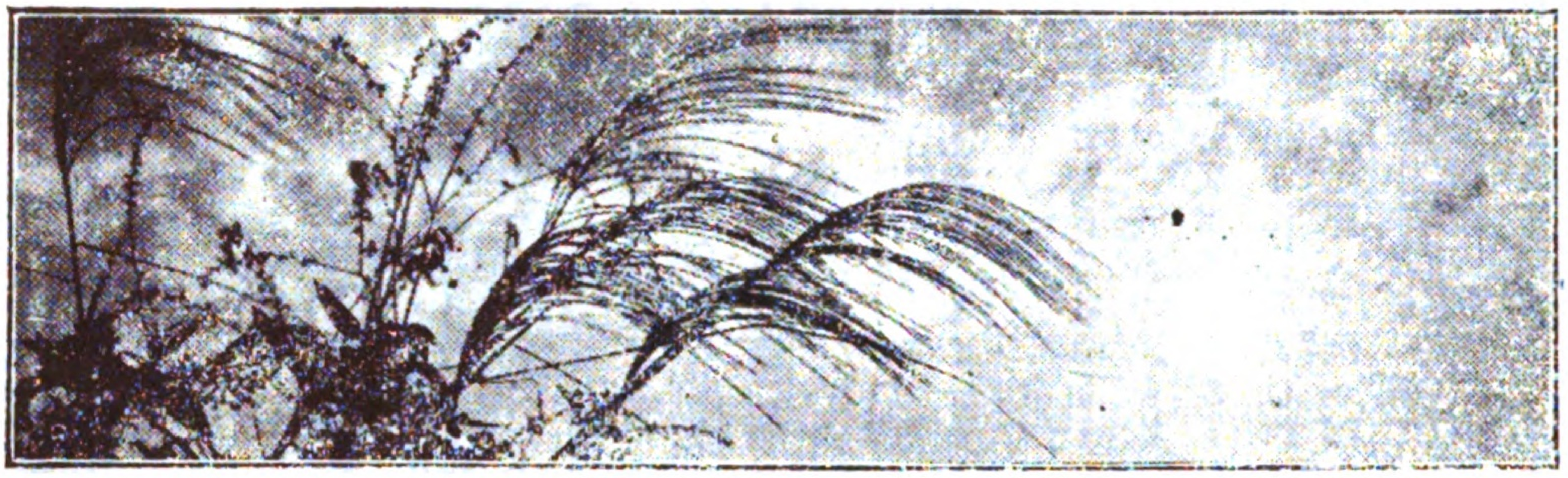
□子の爲めを祈らぬ母はなし

聖オーガスチンは、若き日信仰強きその母に似ず、放縱不羈の生活を送り、遂に家に背き、神を呪つて放浪の旅に出ました。雪の朝、月の夕べ、旅にある我が子の上を思ひ患つて、涙と共に祈つた母の熱誠は終に聞かれて、再びオーガスチンは我が家に立ち歸り、懺悔の涙にかきくれ、母と共に手をとつて、一つ神に敬虔な祈りを捧ぐるに至り、後年、空前絶後の聖徒となつた話は何人も知つて居る處であります。母としてこれ程感激の深い話は、餘りありますまい。信仰なき我が日本の現今にあつても、子の爲めには其の行末を祈らぬ母はあるまいと思はれます。しかもこの母の願ひは往々にして聞かれず、「あの親の子に」と呆れられるやうに、良家に放蕩兒を頻々として見るのは、果して誰が罪でありませうか。

□罠は至る所に人の子を待つ

子女が一と度家庭の外に出づれば、罠は至る所にあります。電燈の眩い大厦高樓に立ち寄れば、其處には華やかな絃歌の聲が、若い血汐を湧きかへらせます。宴會に出づれば、胡蝶のやうな美妓が、酒間を斡旋して、また知らぬ花の郷ありと招くが如く見えます。初めは奇異の世界に目を瞠つて居つた若い人々も、先輩の老壯者が「何を躊躇して居るぞ」と、云はぬ斗りに先に立つて浮かれ歩く樣を見て、多くは之れに誘はれて、次第次第に深みに陷つて行きます。私は意志弱く墮落して行く子を責むる前に、先づ社會の罪を匡したいと思ひます。家庭の感化を充分に其の子に及ぼさうとするには、其の四隣から淸めて參らねばなりませぬ。公然と賣淫を許す公娼制度、暗に蓄妾を許す今日の法律から先づ改めて、先輩の德義を高め、白糸のやうな純な靑年男女に、よい境遇を與へてやりたいと切に希ふのであります。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY



□これ我が義軍の關ヶ原なり

大阪に於ては、今春突然にも、同地子女の唯一の運動場なる天王寺公園を距る僅かに二百間餘の飛田といふ所に二萬坪を新遊廓地として指定せられました。同地は大阪に於ける學校地とも申すべく、專門學校、中學校等、實に九つを數ふると云ふを見ても、此處に遊廓を許可する等はいかに營利一片の爲めに公益を無視し、人道を蹂躙して居る事であるか分りません。「義を見て爲さざるは勇なきなり」基督敎の同志は先づ起つて之れに反對運動を試み、之れに加ふるに輿論を代表する新聞紙は、筆を揃へてこの爲めに非を鳴らして居るにも拘らず、竹矢來は結ばれ、畑は埋められて、近く神官を招いて地鎭祭を行つたとの事であります。時恰も天の助けか內閣に變動がありましたので、好機逸すべからずとして、盛んに其の撤回運動を始め、多くの婦人等は嘆願書を認めて、「母の叫び」として、之れを其の筋に差出すといふ有樣であります。この一戰今後五ヶ年を期して公娼全廢を行はんとする私共の義軍の關ヶ原であります。憲政の發達した今日は、暴君の如く多數の輿論に逆つても、惡政を布かうとはしないのでありませうから、大阪市民が擧つて其の良心を醒まし、我が子孫を賊する飛田遊廓の撤回を飽く迄も主張して、最後の勝利を治められたいものであります。どうぞこの爲めに義軍の諸兄姉と共に熱誠な祈りを以て應援致したいのであります。

□「新しい」といふ衣を着た惡魔

更らに婦人矯風會に於ては、議會開會の時機も迫つて參りましたので、一夫一婦の請願書を今年も議會に提出するやうに準備して居ります。近來はまた自由戀愛等と新らしい理窟をつけて、昔の蓄妾と同じ關係を保つ人々をも見受くるやうになりました。いかに世は變り、時は遷つても、人間の本性に立ち歸つて、其の純な要求を靜かに探ぬれば、一夫一婦は實に人間の自然の道であります。誰れか高潔な愛に結ばれた二人の間に、他を顧る餘裕などがありませうぞ、慾望の儘にきのふは東、けふは西と遷つて行く人々に、眞實な純愛が味はれませうぞ。どうか若い人々が「新らしい」といふ衣を着た惡魔の聲に耳を傾けずに、常に神の聖前に額いて、其の御指導に縋りつゝ歩むことを忘れないやうにお願ひしたいものであります。而して我が愛する日本の法律も、次第に高い道德律を標準とした、神聖なものと致したいものであります。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

飮酒問題と社會

早稻田大學教授
廓清會副會長　安部磯雄

▲善種學上より見たる酒の害

酒の害は今日まで多く道德上より説かれたのであるが、泰西諸國に於て近頃善種學なるものが唱へらるゝ樣になつて、重に遺傳といふ立場から論究せらるゝ樣になつた。酒の害が子孫に及ぶことは、久しく醫學者の間に唱へられて居たのであるが善種學が益々研究せらるゝに至り、此ことは一層多く人々の注意を惹く樣になつた。獨逸を初め瑞西の如き國々に於ては、癲狂院及び精神病院に於ける患者の病源に就き、詳細なる研究を爲されて居るのであるが、患者の五割位は其父母の飮酒家であるといふことが重なる原因となつて居るらしい。之は多分我國に於ても同樣であると思ふ。多數の人々は唯之だけを見ては餘り多く酒の害を悟ることが出來ないかも知れぬが、酒害の最も甚だしく表はれたるものが、癲狂者若くは精神病者であるとすれば、夫れ程までに甚だしからざる程度に於て酒害の表はれて居る範圍は、實に驚くべきものではないかと思ふ。例へば白痴、低能兒の如きは云ふまでもなく、小學中學などに於て、度々落第するが如き學生の頭腦には、必ず兩親の飮酒が少なからぬ影響を及ぼして居ることは明かであると信ずる。凡そ人種の墮落は單に體力ばかりでなく、又心的方面に在ることも疑なきことであるから、酒の害が人種を墮落せしむるに與つて力あることは、何人も之を拒むことは出來まい。私は今日我國民の品質を墮落せしめつゝある所のものは酒毒と梅毒とが最も大なるものであると信じて居る。故に酒を禁ずるといふが如きことは單に道德上の問題といふよりも寧ろ國民の盛衰に關する大問題であると云はねばならぬ。

▲音樂家と運動家

多數の人は酒の害が如何に大なるかを實驗して居ない。或人の如きは却つて酒の利益あることを信じて居る。昔から詩人若くは文人等に酒の力を借りて秀逸なる作を爲した者すらもある。之に由りて酒は時として我々の能力に一種の不思議なる力を與ふるが如く思はれる場合もある。然れども斯の如きことは寧ろ例外であつて決して普通の事と考ふべきものではない。私共が非常に微妙なる或は緻密なる働きを爲す場合に於て、酒が如何に有害なるかは、容易に之を實驗することが出來る。例へば聲樂家は最も其咽喉を大切にするのであるから、如何に平常煙草や酒を嗜む人であつても、若し晴れの場所に出て唱ふ樣なことがあれば、彼は殆んど一週間前よく全

く酒と煙草を禁ずるといふことを聞いて居る。之は咽喉の構造が極めて微妙であるから少しでもこれに刺戟を與ふることは直に音聲に非常の影響を及ぼすからである。又米國に於ては野球を商賣にして居る所の者があるが、彼等は殆んど七ケ月間に亘る野球季に於て一切酒と煙草を禁じて居るのである更に米國の諸學校に於ける運動各部の選手は、殆んど悉く運動季間を通じて禁酒禁煙を實行して居る。凡そ激烈なる運動に於ては最も多くの耐久力を要するのであるから、耐久力養成上禁酒禁煙が必要條件となるのである。

▲飲酒の社會上より觀たる罪惡

酒を飲む人が悉く己の身を誤り、且つ其子孫に害毒を遺すといふ譯はない。故に他に害を及ぼさゝる以上は、飲酒必ずしも罪惡にあらずといふ人があるけれども、これは決して正當なる議論ではない。若し飲酒の爲に精神病者を出だし白痴若くは低能兒を出だし、青年を遊蕩に導く媒介となり、且つこれが爲め數億圓の富を消費することゝなれば、國家の目より之を觀て一の大なる罪惡であるといふことは決して過言でない。或人は又勞働者階級が唯一の樂みとする所は酒であるから、彼等より之を奪ひ取ることは極めて殘酷であると論ずるのである。然れども之も亦決して徹底したる議論ではない。若し快樂を與ふるといふ點から云へば酒は阿片に勝らない。支那人は阿片によりて非常なる愉快を得て居るのであるけれども、これが國民の健康に有害であることが明であれば之を禁止すべきは當然のことである。勿論酒の害は決して阿片の如く甚しくはない。併し善種學上より觀て其害は明であるとすれば、縱しそれが多數の國民に快樂を與ふるとしても國民發達の爲めに之を禁止すべきは云ふまでもない。

飛田問題に對する母の叫び

大阪婦人二百餘人の示威運動

▲如何にして禁酒を實行すべき乎

米國に於ては法律の力によりて禁酒を實行せんとする運動が盛んに起り、既に其目的を達して居る所もある。併し我國に於ては先づ輿論を起す必要があるから社會指導の任にある者殊に宗敎家、敎育家及び醫學者が自ら率先して、其模範を示すことが必要であると信ずる。故に私は其手始めとして此等三階級の人々が公會の席に於ては斷じて酒を飲まぬ樣にして貰ひたい。斯くすれば漸次飲酒の弊風を改め、遂には法律を以て之を禁止することが出來るに至るであらうと信ずる。

教育ある婦人の貞操觀

東京帝國大學文科大學教授
東京女子高師範學校教授　文學博士　吉田熊次

□第三期の貞操觀

私は平素女子敎育に携つて居るから敎育ある婦人の眼に映ずる貞操觀といふものを知り度いと思て、過日私の學校生徒に對して其問題の答案を得た事がある。而して此事は今後中流以上の社會に立ちて健全なる家庭を築くといふ最も敎育ある婦人の、貞操に對する考が如何であるか、又此等婦人達が敎師の任に當つて生徒達に如何な風に貞操問題を取扱つて行くか指導して行くかといふ最も興味ある問題であるから、此事に依つて私の女子敎育に對する今後の方針に有益なる研究材料たるは言ふ迄もない。

如斯理由のもとに私は昨年十二月中女子高等師範學校の上級生徒からの貞操觀を求めたのであるが。順序として古來よりの貞操觀念の歷史的傾向を一言する必要がある。

一體婦人の貞操觀といふ者は、洋の東西を問はず、大抵同じ軌道内を辿つてゐるものである。而して其時代々々に依つて多少變遷され來つたのであるが、之を說明するには三期に分ちて解釋する事が出來る。第一期は即ち、全然貞操觀念を持つて居らなかつた時代で、上古の男女關係はそれである。日本の古事記杯によつて夫等の事實を知る事が出來る。第二期は婦人のみに貞操といふ者があつた時代で、之れは日本では德川時代が然りであつた。第三期はといふに、男女共に貞操ありとする時代で、貞操は決して婦人許り之を守るものでなく男子も矢張り貞操を守るべき者であるといふ、極めて新しい貞操觀、即ち今日の狀態である。而して此の觀念は啻に現在許りでなく將來にも變る事なき理想であらうと思ふ。

私は此最後の第三期の貞操觀に就て更に詳しく研究して見たい。此觀念には二つの流れが在る事を忘れてはならぬ。其の一は最も嚴格なる一夫一婦主義であり、他は自由戀愛である。而して此二の流れは何處から生み出されたのであらうかと云へば、前者はヘブライズムであり、後者はヘレニズムである。ヘブライ思想では、嚴格なる一夫一婦の觀念を持つたキリスト敎的の見地に立つ處のピユリタンの信仰で、夫婦となつたものは互に其心を捧げ合ひ他の異性を顧みるさへ姦淫の罪ありとする思想である。故に姦淫より起る離婚の場合を除く外斷じて離婚は社會から赦されないといふ。同じ男女共に守るべしとする貞操觀でも自由戀愛觀念の如き者とは、實に雲泥の差ありと謂ふべきである。ヘレニズムは即ち希臘思想で自由戀愛とは文字の通り貞操に對する觀念は男女間立派に存在して居るけれども、人間の意思の自由から成立した結

婚であるから、其意思の儘に離婚する事も出來るといふ極めて自由のみを觀て爲す者である。

□例外に現はれたる貞操觀

私は右の事から只單に『貞操に關する所感』を書けといふ漠然とした題を出し、何等の制限を與へないで、何物でも此問題に關して考へる有りの儘を書け、といふ極めて自由にして其答案も無記名とした。而して生徒を類別すると、文科が三十五人、理科が三十八人、技藝科三十五人、合計百〇八人であつた。其答を見ると次の樣な結果を見る事が出來た。

貞操を主んず可しといふ人は百〇八人全部で一人の例外者もなかつた。之れは前述の第二期乃至第三期の時期に相當して居る事を證して居る。自由戀愛者はなかつたが、多少之れを例外として見たのもあつたやうである。斯樣に貞操は重んずべき事であるといふ觀念は全部であるけれども、例外の場合があると云つた者が八名あつた。其內生活難の爲めに寡婦となつた場合に於ては深く之れを咎むる事は出來ないと書いてある人が五人あつた。さういふ場合は貞操を破れたと見るかどうかは別問題であると思ふ、之は寧ろ精神上の問題であるから、此場合貞操は破れない者と見るのが妥當である。嚴密に云ふならば肉體丈でも貞操を破るものと解釋するであらうが、兎に角其境遇から研究しなくは貞操が破られるかどうか判斷出來ないと書いてある。次に貞操は男子にはなく女子のみに存在する者であると書いた者が一人ある。之を前の時代觀から觀ると第二の貞操を持つた者で、今日と雖も矢張り貞操は女子に限られて居る者だといふ考を持つた者が、少くとも百人に一人は居るといふ事が言ひ得られる。第三の例外は貞操を精神的に守るといふ事は疑はしいから、精神的に破るのは赦すべしと書いた者があつた。之は其程度の問題で却々六つ敷い事であつて惡い邪念を持つ事が既に貞操を破るといふ事は、餘りに嚴密に守り過ぎた考へのやうに見えるといふのであつて先に精神を過重して肉體を無視したと全く反對の考である。最後の例外に血統の斷絶の場合には貞操を破るも差支がないといふ觀念、即ち一家の血統が斷絶するが如き場合には妾を持つも差支がないといふ家族制度を過重した答案がある。都合百〇八人中八人の例外者が如期事を云つてゐる。

□一般的傾向

第二は戀愛を認めたる場合である。貞操を男子に強ゆるが正當であるや否やに就て意見を發表して居る。之は勿論自分自身から出た意見であつて、私の出した問題には其處迄いふてないから、常に此觀念を持つて居るが爲め自然此答案に現れた事で甚だ面白いと思ふ。即ち貞操は男子にも強ゆべしといふ者が文科三十五人中十四人、理科三十八人中十五人、技藝科三十五人の中十七人合計四十六人は殊に男子に要求して居るのである。之等は前述の第三期に進んで來て居る具體的の證據であるとも觀える。又貞操は男女の性であると書いた者が文科に八人、理科に三人、技藝科に三人合計十四人であつた。であるから前の四十六人と此十四人の總計六十人は男

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

子にも貞操がある筈であるから、守らなければならないと要求する傾向を之れを見ても覗ふ事が出來る。將來の貞操觀念の發達を之等婦人の力に依つて養育される事は幸福なる社會を形成する意味ともなるのであると思ふ。故に今日に於ける敎育ある女子は矢張男子に貞操を要求する者と見なければならぬ。次に雙對的に人は如何でも自分は絕對に貞操を守らなければならぬといふ意味を書いた者が六人あつた。男子が如何に亂れても自分丈は何處迄も我慢するといふ德川時代の第二期の婦人は僅に六人である。

私は如斯結果を見て大に滿足したのである。今日の社會に於て苟も理義を解する人達は男女共に此の貞操を維持する事であらうと思ふ。貞操は人格觀念を通せし我々の本務である。夫以上に人の品格を向上させる者はない處の、人としての本意であると云はなければならぬ。一體貞操問題の爲めに泣く女子を人間として見ないで、之をコンマ以下に考へるのは正しからざる事である。一國社會の興亡問題に及ぶ處の者は即ち此の點であらうと思ふ。廣く現社會を覗ひ考へ來らば國民の半數を有する女子をコンマ以下の地位に置いてあるといふ事は、夫れ丈社會の力を半減する事にならなければならぬ。近き例を以て見ると英國の狀態は、歐州大戰亂の爲め若い人達が續々戰地に赴く爲めに、商工業が漸次萎微するといふ事になつて來た。家庭から男子許りが續々除かれるので、之をホーム、オービスといふのださうであるが、斯く青年男子は皆出掛ける爲め國家繁榮の機關に、甚大の影響を與へるといふ處から英國政府では之れが救濟方法を講ずる建議が出た。而して其實狀を調査して見た其結果の報告が十一月になつて或る敎育雜誌に發表になつた處を見ると、倫敦は常に三十萬人の青年が銀行會社等に働いて居る、夫れが漸次招集せられる爲め其補充方法は如何に爲すべきかと調査して見ると、最初は老年や又は戰地に働く事の出來ない體質を持つた男子に其補充を爲さしむるとした處で、夫れは却々容易な事でないので女子を代りに使用する外に方法がないといふ狀態になつた。倫敦にも近時簡易なる實業豫備敎育機關が出來して、女子に夫れを施して目下養成しつゝあるといふ事である。

□驚く可き貞操道德の侮蔑

翻つて我國の狀態は何うであるか、婦人をして玩弄物視し一時の愉快を貪ぼるやうな傾向は今も尚ほ現存しては居らぬであらうか、私は之に就て多少遺憾なきを得ぬのである。而して斯る狀態が尚ほ今後も此儘持續されて行くならば、後悔臍を噬むも及ばぬ時が來る。自分の母や姉妹をコンマ以下に待遇する國は勢ひ亡ぶる外はないのである。其コンマ以下に女子をするやうな制度を國家が之れを公けに設け、紳士の之れに依つて自己の姉妹を玩ぶ事を耻ぢないやうに思ふ道德の原を絕たなければ、國家社會の害毒は底止する處を知らないであらう。藝妓は即ちそれ等の點を遺憾なく暴露したもので藝を賣るといふは表面の事、賣笑婦たるは周知の事實であつて社會の中流以上を紊す公娼以上の白蟻で、此の貞操道德を破壞する公然の張本人が、白晝行列を作つて市中を練り歩く等は以ての外で、社會の無羞低級驚くに堪へたる者である。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

女學生の倫理觀研究

内閣統計局統計官　横山雅男

文明の進歩時代の變遷は、男女間の貞操問題もそれ相應に遷り變つて行く、之れが證明を得るには、矢張り統計に據つて得ねばならぬ。然し乍ら統計學上に於ては確然と其結論を得る譯には行かないものである。只數字上に現はれた、大體に於て一致する點を見て其潮流を伺ひ知るのであるから、寧ろ之れは研究材料として取扱ふ可きものである。其研究材料から種々の方法を以て尙綿密に數字を調べ、而して其得たる數が即ち結論となるのであるから、私が只今謂ふ處の問題も之れを全國各女學校生徒に一々、矢張り同じやうな方法に依つて問を發して答へを得なければならぬのである。茲に述べる處のものは其一部分に過ぎないので、之れは世の識者に斯る問題が統計上より得て稗益が多いであらうといふ點から、此問題を提供した迄である。

全國に於ける女學校職員が、生徒に向つて倫理や宗教を、什麼眼を以て觀るかといふのは、私は餘り耳にしない。私の知つてゐるのは大阪府立淸水谷高等女學校で、此學校に於ける統計調査は稍々完全なる方法と、且問題の提供に其當を得て居るやうに思はれる處から、該校に於ける統計を引用して見たのである。時代は明治四十四年中で、生徒數は五百名であつた。問題は『倫理並に宗教に就て思ふ處を述べよ』といふ漠然たる題を出し、其答案も又極めて自由にせしめたのである。而して倫理に十種、宗教に三種を擧げよといふ事を示して、之れを三十分間に其答案を求めたのであつた。

□　□　□　□

左に掲げたる幾多の統計は、第一位の上段が一年生で、以下段を追ふて二年、三年、四年となり、最下段は五百人に對する割合を示したのである。

△第一番は婦人に最も必要なる德義は何かといふ極めて漠然とした問に對し

種別	一年生	二年生	三年生	四年生	平均割合
溫順	四五	七六	五七	五〇	五七
節操	一〇	六	一〇	二九	一四
行儀	二三	三	—	六	八
慈善	四	三	六	八	五
誠實	五	四	七	三	五
齊家	三	一	一二	—	四
雜	六	六	七	二	五
不明	四	一	一	—	二

以上の統計上に現はれた部分の節操といふ點は、矢張年を經るに從つて其觀念が高くなつて行くやうである。如何に社會が進歩し發達したとするも、此節操觀念は變るものでないといふ事は之れに依つても判る。私もさう思ふ一人で、此節操といふ事は昔も今も決して遷變するものではないと考へられる。此事に就ては近來世の識者が大分喧しく論じて居るやうであるが、矢張り時代の今昔を問はず節操の觀念の高くありたいと望むで居

る。

△次は前問の反對に『婦人の最も不徳義とは何か』。

嫉妬	二二	二三	二三	二二	二〇
傲慢	一一	一六	一三	二〇	一五
不節操	二六	一〇	一二	七	一四
多辯	六	一四	七	二〇	一三
不誠實	一五	九	一二	七	一一
粗野	一二	一二	一三	五	一〇
雜	三	一四	一六	五	一二
不明	一五	三	三	四	六

右の答案から觀ると女子の嫉妬は最も謹む可き事であるといふ觀念が、漸次高くなつて行く、其反對に不節操といふ事が低くなつて行く事は面白い現象であると思ふ。第一學年生が二六であるのに、第四學年生になると七といふ割合に減じて居る。前の統計上からも矢張節操の如何に重ずべきかを、證ずるに足る數字を示したが、茲にも不節操の不徳義なる事を證明して居るのである。傲慢といふ點も不節操と同じく意を留めるやうになつて行く、又多辯も女子に最も謹むべき事であるといふ觀念が高まつて行くやうである。それから粗野といふ點が卒業間際の第四學年生になつて、急激に其差のあるのは面白い現象である。之れは卒業際の學年生だけに社會といふ觀念が呼び起されて來るから今迄の樣に學校生活即ち社會的でないといふ事を考へて來るからであらうと思ふ。

□　□　□　□

近來女子の活潑といふ事が重んぜられるやうになつて來た。之れは啻に歐米諸國許りでなく、一般の趨勢で生活問題又は人類改良杯といふ矢釜しい問題から、女子の體質といふ者を今日より一層健全ならしめて、人類の幸福といふ點を期待するからである。我國の女子が歐米の夫れに比較して其體質の劣つて居るといふ事は、我々の目撃する處であるが、然し又男子も劣つて居るのである。之れに就ては地勢の關係、人種別等に依つて區別されるもので、身丈が大きいのみを以て身體の強弱を推定する標準とはならぬのである。今日我國民をして歐米人の如くなさしむるといふ事は甚だ結構な事に違ひないが、只徒らに外觀を見て之を模倣するといふのは少しく考へたいと思ふ。殊に女子杯は何も活潑々々といふて、大道を濶歩し宛然男子と同じ動作に出でん事を夫れ自身も又教育家杯も、非常に其邊を注目して身體の強健を圖るやう努力して居る、が其努力は決して不賛成ではない。只粗野に流れぬやうにして欲しい。我國の婦人の服裝と歐米の夫れとは非常に違ふ。其の服裝の適不適は別として、さう相違せる風俗を逆に當嵌めやうとするのは考へものである。今日我々が往々目撃する事は此弊害であらうか年若の婦人が家庭にあつて、動作が餘りに活潑過ぎ大股に歩むため眞赤な蹴出し杯を、人の前に遠慮會釋なしで平氣で歩んで行く者がある。つまり活潑過ぎて粗野に流れた結果であると思ふ。古人の川柳に『見ぬやうにしても眼に付く緋縮緬』とか、洵に物騷此上もない事になるのである。昔の英雄豪傑杯の態度は歩き方に依つて知れるといふ事を、我々は今日の演劇で知る事が出來る。英雄豪傑は必ず足の爪先を開くのであるが、之れに反して婦人は必ず八の字に歩む、つまりしつとりした氣分は此の八の字歩きにあるので、それが英雄歩きに依つては婦人の優美な點を失ふといふ事に昔から相場が極めてある。故に女らしくといへば足を八

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

の字に歩むものに極まつてゐる。今日の婦人が此の反對に歩むやうに見られるのは體操の然らしむる處と、婦人の體質上から婦人は須く活潑なれといふ社會の敎訓（社會の要求的敎訓とでも云つた方が適當）に依つて、遂に粗野に流れる傾向が現はれ來つた者である。婦人の身長が上へ上へと高くなつて行くといふ現象も夫等の結果で、肉體の惡いのも矢張り其弊害から生れた今日の缺點である。

△次は婦人の最も特長とすべき性質は何か。

	□	□	□	□	□
綿密	二五	四四	四三	四五	三九
溫順	二〇	一四	二八	三〇	二三
慈愛	一六	二五	二三	二三	二二
優美	九	六	四	二	五
雜	二〇	七	三	|	七
不明	一〇	三	|	|	三

茲には婦人に取つて最も特徴とする綿密といふ點が、現はれた。實に綿密といふ事は婦人の特點であつて、之れは男子の及ばぬ處である。我々が知人と往來で出會した處で別に何等の印象も殘らない。只今日は位の處であるが、女子になるとさうではない。お辭儀一つの間に對手の足の先から頭の天邊まで注意して、ちやんと記臆して居る。我々が外出途中或る友人の妻君に會つたといふ事を自分の妻に話すと假定する。と妻の問ふ處は先づ彼の奥さんの服裝は何麽物であつたかと訊かれる、けれども我々は其樣な綿密な點には着目が出來ないのである。女子の綿密といふ點は我々が感服する事で、女子も又大に誇られねばならぬ事であらう。現今女子が此綿密といふ特點を漸次失はれて行くといふ事は心細いやうにも感じられる。然し之れも社會趨勢で生活難といふ事から、婦人と云へども外に出で男子と同樣に働らかねばならぬやうになつて來た結果であらうと思はれる。故に職業といふ點から幾多婦人の性質が變遷されて行く事は爭はれない事實である。今回の歐洲戰亂の影響は交戰國婦人をして、男子の職業に就かしめた事が多いといふ事を聞いた。之れは余儀ない結果からといふ事は出來るけれども、今回の戰亂に依つて許りでなく、社會の進歩は益々婦人の職業を促して止まないのである。而して婦人と雖も我々程度の職業は男女優劣の區別を立てる事が出來ないといふさうである。故に戰亂が片付いたにした處で其獲得したる職業は再び返すまいと思はれる。

我國に於ても婦人の職業といふ者が、近來重要視せられて貯金局の事務員を劈頭に銀行會社其他萬般の方面へ婦人が浸入して居るが、皆夫れ相應に好成績を擧げて居る。文明の進歩は如斯婦人に對しての職業の要求を容れ、社會も又之れに相當の職業を與へるといふ事は喜ぶべき現象で、今日の處では男女共に職務の優劣は別問題として、婦人へ或程度迄の職業を與へても從事して好成績を擧げ得らるゝといふ定評であるやうになつたのである。

△女子の最も大なる缺點は何か。

柔弱	二六	一八	二〇	二五	二三
嫉妬	一八	三五	一四	一七	二三
狹量	一九	二一	一三	八	二一
過敏	二	四	三五	一九	一五
多辯	六	八	四	一二	一五
淺慮	二	五	一〇	二	七
虛榮心	三	三	二	七	四
雜	一〇	二	二	七	五
不明	一四	四	五	三	五

此等世上の問題となるのは虛榮心であ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

る。敎育ある婦人が萬引をするといふ事が屢々新聞の三面を賑はすけれども、之れは要するに現代婦人の缺點か、夫れとも社會の罪か此點は世の識者間の考慮を煩したい。何故かなれば法律上より觀ても此程の犯罪は、偶發的部分に加はるべきものださうで、常に斯る盜癖のない婦人でも外界の刺戟に依つて、良心が痲痺される結果であるから大に研究し、彼等婦女子に同情してやらねばならぬ事であらうと思ふ。只徒らに其者の罪を科めて世間は一笑に附して了ふけれども、其萬引する動機は洵にお氣の毒な點がないでもないのである。

△女子の第一に努める事業

齊家	四三	六一	六二	六六	五八
育兒	一八	一四	三三	二二	二二
裁縫	二二	一一	二	三	九
雜	一四	一二	二	七	九
不明	三	二	一	二	二

此中に現はれた數字から齊家即ち家庭を脩めるといふ點は、漸次增して行くに反し裁縫といふ點が反對の傾向を示すのは面白い現象である。齊家、育兒の觀念が增して行く傾向を示してゐるから裁縫といふ、其二の事業に關して最も密接なる關係を有する事業は增して行く可き筈なのに減じて行くといふのは、之れも矢張前表に於て述べた通り粗野といふ缺點が、頭を擡げ出し且つ職業問題が男女共の區別なく得らるゝといふ點から、裁縫等の面倒な事は如何でも良いといふ觀念が高まつて行くやうにも見えるのである。今日の女學生が衣服一枚滿足に縫ふ事が出來ない抔と惡口をつく人があるけれども、無理ならぬ話で現今技藝といふ方面に力を入れ來つたのも矢張之等の缺點を防がんが爲めのものであると思はれるのである。

△女子の最も適當なる仕事は何か

裁縫	五八	六四	二六	四	三八
育兒	五	四	二一	五一	二〇
家事	一二	一七	二四	二七	二〇
技藝	九	九	一八	一一	一〇
看護	三	三	四	二	六
雜	九	二	五	一	四
不明	三	一	一	四	二

茲にも矢張裁縫の事に就いては餘りに重要視してゐないやうな事になつてゐる。其他は之れといふ缺點を發見する事が出來ない、皆其當を得てゐるやうに見られる。

次の問は女子の最も幸福なる境遇といふ題の答へであるが、之れは矢張誰の考へも同等で、第一が圓滿なる家庭、次は家庭の人の健全、次は父母の長壽といふ順序になつて居るから、之れといふ一種特別の特徵を見出す事は出來ない。

△女子の最も不幸なる境遇は何か

一家不和	一四	一八	四二	六四	三四
早去兩親	一八	三二	九	一二	一七
早別夫	一六	三	九	一三	一三
虛弱	一七	一一	一一	二	八
獨身生活	二	七	六	四	七
無宗教	一四	七	|	|	五
受世人擯斥	二	四	五	一	三
雜	九	四	六	三	六
不明	一九	四	二	一	七

此表も前表と同じく家庭の不和、即ち圓滿を缺ぐといふ事は女子に取て第一の不幸であるといふ事を語つて居る。之れに就ては我國の婦人の特性で、外國人には餘り見られない傾向である、外國人は只夫婦間といふ狹い圓滿を望むに對し、我國婦人は家庭といふ大なる考へを懷いてゐる者である。我國の今日を爲したる

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

も婦人の此の特性があつたからである、今後も尚一層家庭圓滿といふ、家庭の觀念を高めさせたいものである。

●●●□●●□●●□●●□●●

△世間で最も賞むべき事柄は何か。

慈善	一二	一五	二〇	五一	二四
忠孝	三三	三一	二	六	三三
公益	一一	六	一九	一九	一四
誠實	六	二七	二二	七	一三
愛國	一〇	三	一七	七	九
節操	六	三	四	一	四
雜	六	八	｜	五	五
不明	一七	八	六	五	九

此内に於て慈善心の賞むべき事であるは現はれて居るが、忠孝といふ點に於ては益々減じて行くのは注目すべき事柄である。公益の多いのも亦慈善心の賞むべき事と同一の程度迄には行かずとも、漸次高まつて行く事は爭はれない事であるが、忠孝と節操の觀念が餘り賞むべき事でないといふ點は、國家國民の大問題であると云はねばならぬ。節操の如きは其土地の風俗等より相違するけれども大體に於て、少くとも節操が餘りに重要視されないといふ事は考慮を要する點であると思ふ。之れが大阪の一校であるから良いけれども東京に於ける女學生全體が斯る觀念を持つて居るとすれば、开は教育界の大問題として考へなければならぬ事であらうと思ふ、敢へて世の識者に此問題を提供したいのである。

●●●●●●●●●●●●●●●

世間で最も擯斥すべき事は何か。といふ問に對しては第一不誠實、第二盗賊其他、第三不忠孝といふ順序になつて居る。之れに就ては別に之れといふ異なる點を發見する事が出來ないから數字を示さずに置くが、要するに不誠實は第一に擯斥すべき事柄であるといふ、即ち正直といふ意味で物事凡てに於て誠實でなければならぬといふ觀念が最も強いといふ丈に止つて居るのである。

斯く示し來つた統計から割出して見ると、其中には我々男子の豫想外の事實を發見するのである。我々の婦人觀といふものは皆其人々に依つて意見を異にしてゐるのは當然であるが、從來婦人は什麼ものかといふ事に就ては誰も斯うであるといふ斷定を下した者がない。中には婦人の心理狀態は斯うであるから、斯うでなければならぬといふ、なければならぬといふ一種の斷案で夫を證明し得なかつたのである。然るに茲に統計局が生れ來つて、少くも一校生徒の五百人丈でも婦人といふ其者の心理を幾多覗ひ知る事が出來た譯であるから、之に就ては此例にならつて其他の各學校もやつて見たらどうかと思ふのである。

□■□ 自由廢業は此の手紙で □■□

おてがみにておねがい致します。わたくしは深川洲崎辨天町むさしろの、しよぎでございますが六年の年きではいりまして、ちようど今日で三年と三月になりますから、あと三年ありますが、私わからだがよわくてこまります。びよきわしものびよきで、しじうにこまつております。むさしろにおりましてわおもうおいしやさまも、かゝれませんからだんだんわるくなるばかりでございます。あなたさまにお∴すけおして、いたゞきたいのでございます。わたくしもきやくしよばいわ、どうしてもいやでございますから、ぞうぞおたすけ下さいまし、おもてへでまして、ほうこでもなんでもしまして、むさしろさまにわ日にいくらでも、おはらい致しますからどうぞあなたさまに、おちからでおすくい下さいまし。又かよなとをもうしましてわ、まことにひつれいでございますが、お金が二十圓ほどありますがいかほどありましたらよいでございましよ。ひつれいでございますが、おきかせ下さいまし。かよなことをもうしまして、まことにすみません。まことにおきのどくさまでございますが、ごへんじ下さいまし、まことにすみませんが、おてがみのうらへあなたさまのおこころでなくして下さいまし。もしもごしじんさまにしれますれば、たいへんでございます。

深川區すさきべんてん町
むさしろ内　△△より

廓淸の三綱

宮崎支部委員　西内天行

近時一大不平に堪へない事は世上青年男女の墮落を憤慨し之を攻擊する者は甚だ多いが、進んで渠等を指導し敎育する品格ある人士が尠い。憤慨し攻擊はするが其の憤慨者、攻擊者の御手許拜見といふ事になれば遺憾乍ら不良老年不良壯年の夥しきに驚かざるを得ない、予は廓淸會支部の使命として兩性問題を解決する樣に努力するにある事を信ずる者であるが、其兩性問題とは啻に未婚の青年男女を指すのみにあらず既婚の人々をも加へてをる次第であつて、狹い意味の未婚者のみならず、廣い意味に於て既婚者をも加へて居るのである余が廓淸會支部設置の當時、當局者の質問に答へた三ケ條は其の眞意を下して充分である。曰く

一、青年男女間の德操を養成する事

二、一夫一婦の觀念を各家庭に普及徹底せしむる事

三、公私娼妓を弄する事の一大罪惡たる事を知らしむると共に之等の醜業制度を公認する國民意識の醜惡なる事を自覺せしむる事

等であるが、而も青年男女の德性と謂ひ夫婦間の道德と謂ひ醜業公認の惡と謂ひ、之等三大綱領の活ける解決は人格觀念の明確徹透を俟つて初めて實現せらるゝものであらう、現代の患ひは尙未だ人格觀念の明確を缺いて居る事である。

□兩性問題と人格觀念

此大問題を論ぜんとするに膺りて、我國敎育界に於てすら徹底したる人格觀念を以て、兩性問題を解決せんとするの趨勢だに、尙ほ未だ豫知し得ざる事は寔に遺憾の至りである。廓淸會を中心として見る時には、極めて熱心なる二三敎育家のないでもないが、要するに之れ昱星の如く、寔に寥々たる者である。一般敎育家の意識の内には男子の人格を認むるけれども女子の人格を認めないやうな人々即ち一知半解の人も尠からずある、從つて男子は人間と見るけれども女子は人間類似の怪物の如く考へる居る人が甚だ多い。要するに男女兩性に對する人格觀念が明確でない、故に貞操問題の如きも女子には强ゆるが男子は治外法權であるが如く考へて居る風が大正の聖代にも尙殘つて居る。然し斯うなれば女子を人間扱ひにして男子は動物扱ひにして居る者のやうに見受けられないでもない、即ち女子には貞操を强ゆる價値があるから强ゆるが男子には强ゆる價値がないから强ひないのではないかと皮肉くる事も能るが、どうも徹底した明確なる人格觀念が確立して居らない事は炳のやうだ。而も之れ我國敎育界の一大缺點であるのみならず、實は東洋意識の一大缺點ではあるまいかと思はれる、印度でも支那でも、古來男女兩性に對する人格觀念に至つては明確でない、不徹底であり、朦朧體である。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

而して此點は西洋意識の優秀なる所以であらうと思はれる。然し我國大古の人格觀念の如き、實は西洋以上の如く思はれる點もある。英國人がヴイクトリア女王を又はエリサベス女王を尊敬するに優りて、大日孁貴を尊崇畏敬するが如きは、宇内無類の實例であるが、加も印度支那の二大思想たる佛儒の感化は、自然に大古の人格觀念を逆轉し去りて、男尊女卑の不徹底なる朦朧觀念に墮落せしむるに至つた。如斯不徹底なる人格觀念を以て、兩性問題の謎語を解決せんとするも、到底不可能の事と謂はねばならぬ。

□兩性觀念の新權威

故に今日は敎育上に於ても、男女兩性に對する人格觀念の根本革新を行ひ平等普通の新觀念を以つてせねばならぬと思ふのであるが、佛敎の如きにも此觀念はないのではない。一切衆生佛性を具有すと謂ふ如き大乘的見地を以て男女兩性を觀察するならば男女共に佛性を有して佛陀たる可き素因を以て居るのである。更に基督敎の如きは、男性にも、女性にも神の子たる可き神種の實在を確信し茲に人格の基礎觀念を置くものであつて、男女兩性の同一價値を見認し、其主張の爲に戰ひ來つて居る者である。去れば我國大古の人格觀念に復歸する事も惡くはないが人格觀念の最も明確なる思想、信仰に據りて其内容を充實する事は、今後に於て更らに大切なる急務である事を信ずる。而して此男女兩性に對する價値觀念を最近我國に於て具體的に顯彰せられたる者は、昨秋御大典の當時に於ける(高御座)及び(御帳臺)に現はれたる思想精神であると思はれる。高御座及び御帳臺に現はれたる思想精神は兩陛下が登極卽位の大儀を、天地六合に表明せられたる者であつて、之を男女兩性の見地より一考すれば、男女對等の主意の一大表現なりと仰ぎ觀る事が能る。而して男女對等の思想は、今日に於ける兩性間の根本思想たる可き者であつて此意味に於て昨秋の御大典は、我國民の兩性觀念の根本思想に向つて一大權威を加へられたる者である事を感謝せねばならぬ。(性の敎育)の理想は極端なる男女間の差別思想を打破して平等一如の大觀に向上せしむるにある。若し我國民が靜に高御座及び御帳臺を連想する時に、茲には最早極端なる兩性間の差別思想が殆ど全く一掃せられて大正聖代の新倫理新道德の發端を欣迎するが如くに感せられるであらう。青年男女德操の養成は此の新人格觀念の新基礎を開拓して、始めて不斷の向上を見るに至るであらう。乃ち男も女も自己の内部生命を自覺してソコに無限の價値を意識し來る時に、人格觀念に對する革新は自然に成就せられるであらう。

□夫婦道德の新光輝

俗謠に『日の本は天の磐戸の昔より女ならでは夜の明けぬ國』といふ諷諌の妙を極めたる一詠があるが、之に據りて見れば、我邦の庭家道德問題は極めて古い問題である事を證明するものである。然るに今や新しき天の磐戸は開かれて、新しき光輝が我東洋の天地に輝き諸國諸族が從來の陋習に囚へられたる其の弊風を一掃し去るの槪を示するものがある。『登極令』中の『婚嫁』の一項は乃ち夫である。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

第十三條　立后の詔書は大婚の禮を行ふ當日之を公布する
第十四條　大婚の禮訖りたるときは天皇皇后と共に皇靈殿に謁す
第十五條　大婚の禮訖りたるときは天皇皇后と共に太皇、太后、皇太后に謁す
第十六條　大婚の禮訖りたるときは天皇皇后と共に正殿に御し朝賀を受く
第十七條　大婚の禮訖りたるときは天皇皇后と共に宮中に於て餐宴を賜ふ
第十八條　大婚の禮訖りたるときは天皇皇后共に神宮、神武天皇陵、並に先帝先后の山陵に謁す

以上は明治天皇の大命を奉じて、桂公以下が制定したるものであつて、是に據りて拜察すれば一夫一婦主義を原則として、婚嫁令の制定せられたる事は日月の夫の如く赫々乎として明白である。神武以來の宮廷道德が明治天皇の卓拔英邁の御識見に據りて不言不語の間に一大革進を斷行せられたるものにて、今上陛下の御家風は我が泰東諸國諸主、諸族が一齊に仰いで以て其の德化に浴せねばならぬ一新光明となりて輝き亘りつゝあるのである。此の大命を背景として高御座、御帳臺を更に新しく仰ぎ見奉らんか、一夫一婦主義の家庭道德の上に一大權威として國民に實行を促し給ふが如く拜せられるのである。

□宴會廓清の新模範

寔に畏多き事なれども、二條離宮の大宴會の如きは、宴會改良の理想を示さたるものであつて、五節舞の如きも實に堂堂たる華族の姫君達であつた。

教育勅語の中には

朕爾臣民と倶に咸其の德を一にせん事を幾庶ふ

と宣せられてあるから、宴會改良の如き殊に雲上の德と一體となりて、其精華を發揮せねばならぬ。果して然らば公私兩娼の如きは自然に撲滅せらるべきものである。吾人の宴會には特に華族の姫君を聘するの必要はないが、夫人あり令孃あるの各位は、宴會改良の新例を拓くやうにして貰ひたいものである、大宴會の時には皇族、大臣にして夫婦相携して參列の光榮に浴したる方々も多くあつた。これ宴會改良の好模範である。醜業婦を招かざれば宴會は出來ないもの丶如く考へてゐる人々に對しては、慥に一大教訓であらう。此點に於て謠曲趣味の皷吹の如き甚だ興味ある主人は謠ひ夫人は皷を打ち、娘は舞ふ、我邦の西洋音樂趣味亦は謠曲趣味と握手提携して進み往くならば、遠からず面目を一新するであらう。

廓清會主事　伊藤秀吉氏著

飛田遊廓反對意見

菊版百五十頁　實費二十錢にて頒つ

—(目次概要)—

□序論　飛田遊廓は天下の問題
□第一篇　公娼制度の現勢
□第二篇　公娼制度廢止論
□第三篇　存娼論の枝城
□第四篇　公娼廢止善後策
□第五篇　現下事實の問題
□第六篇　輿論の歸嚮

▲賣淫の定義▲公娼とは何ぞや▲日本賣淫史▲外數項▲存娼論と絶娼論の區別▲人道上より廢止を主張す▲本質上より▲社會政策上より▲外數項▲生理的存娼論▲公娼と私娼の優劣▲私娼が殖へるか▲外數項▲抱主を處罰せよ▲比較的善後策▲現想的善後策▲失業者救濟とは何ぞ▲口約とは何ぞや▲遊廓整理とは何ぞや▲外數項▲立憲政治は輿論政治▲反對運動概況▲各政黨の態度▲政治家の正論▲其他數項

裏長屋の精神修養（二）

三輪田高女校長
廓清會評議員　三輪田元道

外國人が此東京を觀て一番驚くのは何處へ行つても到る處樹木の多い事だといふ。成程さう云はれて見れば、東京市中到る處樹木を認めない處はない。而して此樹木に依つてどれ丈か、市街の外觀を美しく且つ清らかにして居るかは我々の夙に知る處なのである。若も此樹木を取り去るとせば、其處には洵に殺風景な市街が曝け出されるであらうと思ふ。然るに樹木は啻に道路の兩側許りでなく、市内の大抵の家には大小の庭園があつて、落葉樹や常磐樹が植えられてあるから、市街の外觀美は勿論の事我々の生活上に迄も好影響がある。そこでさういふ意味から庭園税をして宅地税から取り除いて貰ひたいといふ人があるけれども、至極尤もな事であると思ふ。

□　□　□

森林のやうな宏大なる庭園も、又は一坪に足らない僅な中庭でも、其持主許りが清淨な氣分を味ふのみでなく、隣家の人達迄が同じく、其恩惠に接する事が出來るのである。春風が吹いて梅が綻び初める頃鶯が其枝に來てホーホケキヨと鳴く其長閑さも、矢張り庭園の持主と同樣な氣分を味へる丈、それ丈それ等の恩惠を與へて貰える譯になるので、或は又月の眺を樹木の爲めに尙ほ一層よく觀る事が出來たり、雨の降る日の靜けさを求め得らるゝといふやうな凡ての事が皆庭園の在るお蔭であると云はねばならぬ。

而して其處には我々の慕ふ自然の美を想像する事が出來、人生の眞意義を感じ、軈ては生の理想をも自づと、湧き出つる事となるのである。

□　□　□

さういふ點から我日本人、殊に此大都會たる東京が比較的樹木が到る處に存在して居るといふ事は、我々に取つて寔に幸福であると謂はなければならないのである。之を歐米各國に於ける大都會と比較すれば、何うであらうか。彼等は我々のやうに此恩惠に接する事が出來ないから（其處には種々の事情があるからでもあらうが）公園を作つたり、森林生活に憧がれたり、或は田園生活を追慕して行くやうになるのである。我々は之に就て大に感謝せなければならないと思ふ。

今日のやうな世事辛い時代には、殊に自然といふものを愛させるやうに奬勵したいものである。何故なれば人間は兎角物質的に許り片寄つて了へば、性が下品に陷り易いものであるから、何うかして之を精神界に導くやうにしたい者で、夫れには矢張り精神の純潔を得さするやうにしなければならぬ。精神の純潔は此自然の美を認めさせて出來る丈其美に接觸させなければならぬ事になるのである。

□　□　□

夫れには矢張前に述べたやうに中庭があるなれば手の屆き得る限り掃き清め、又は金魚を飼つてあれば、水を取り替へてやり、常に清新の氣分を味ふ事が出來

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

るやうにしたい。若し夫等がないならば、せめて臺所を清めるとか、或は食器什具に至る迄手の屆く限り、自分達の居心地の良いやうにしたいものである。尤も之等の事は裏長屋の人達が現に遣つて居る事であるから、今更諄々しく云ふ必要もないが尚此上凡ての方面に留意して外部の清淨を勉めさせたいものである。外部の清淨はやがて内部即ち精神上に及ぼして茲に精神修養といふ一階級が作り上げられる事になるのである。

此點から日常我々の眼に映ずる不愉快な連想が起るやうなものは之を成る可く避けたいものである。彼の新宿といふ町を通ると牢屋のやうな家屋が軒續きに市街を爲してゐるけれども、若し子供が父母などに尋ねた其場合、何と答へる事が出來やうか。考へるだに恐ろしい惡感化を無垢な精神へ刻み付け、彼の醜態は遂に子をして放蕩の境遇に陷らしむるのである。之れでは如何程學校に於て精神修養を説いた處で、百日の説法屁一つの類になつて了ふので、それを只無暗に不良少年呼はりする杯は大に考へねばならぬ事ではあるまいか。

□　□

上野の山から市街を見下せば、到る處黑煙朦朧と立罩めてゐて、如何にも不快な感がある。けれども其煙は殖産といふ意味があるから、夫れに對して犧牲の念が浮ぶが、彼の吉原の如き不生產的な遊蕩兒養成所が、大廈高樓軒を並べて美觀を添はしむるに至つては敎育上に何れ丈迷惑此上なしである。又之れに對峙するのは淺草の十二階である。私は十二階其物を嫌ふ者ではない、十二階と云へば私娼窟を聯想するから譬へ公園内に幾他の精神修養機關があるとしても、夫れは差引零である。だから折角の神社も神社なし私娼窟なりといふ事になつて了ふのである。

斯樣な惡感化を與へるやうなものがある間は、我々家庭の此小さな中で、如何程精神の修養を説いた處で、其効や皆無といひたい程、至極薄片なものとなる。眼で觀る凡ての物が醜である以上、如何に之は美しいものだといつた處で夫れは駄目だ『德は耳より入らずして眼より入る』といふ格言の通りで今日の實地敎育から考へても悲い哉、骨折損の疲勞儲けとなる譯である。

□　□

今迄家庭を説く人達が、夫婦喧嘩や又は隣り近所と口論杯をする事は固く之を誡めて居るけれども、其樣な判り來つた事は先づ後廻しとして最初に外界の刺戟に注意しないならば、それは殆ど馬の耳に念佛の轍であるだから、折角の修養談も三文の値打がない事になる。夫に引換へ夕顏棚の下で喧嘩せよといふた處で、決して喧嘩の出來るものではないと同じ事で、金魚を見て子供か親に喧嘩を吹き掛ける樣な事はない。人は周圍の境遇に注意するといふ事は、返す〳〵も肝腎な事であると思ふ。

獨逸では『ジッセン、レーレー』といふて、習慣を善良なる者から取り之を天性とするやうな、敎育方法を用いてゐるといふ事である。日本の道德も矢張り見馴聞馴する實驗上から、其處に一つの道德を確然と植付けて、生活と分離することが能ないやうすれば良いと思ふ。夫が軈て家庭の中心となり國家の中堅になるのである。愉快に淸らかな氣持ちにする事は極めて肝要な事ではあるまいか。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

丸山保安部長の説を評す

伊藤江南

警視廳は本會の主張に反省し前號に掲ぐるが如き吉原の大變化を見るに至つたから、余の此論評は今日の丸山氏には當らない點があるであらうと思ふ。が既に豫告して置いた事でもあり、且つは類似の存娼論者も多い事であるから、主として本誌八月號に掲げた氏の所説に基いて駁論の筆を執つた。

吾人が幾度か私娼跋扈の妄狀を訴へたにも拘らず、歷代の警視總監が手を觸れやうとしなかつた方面に、方面監察丸山鶴吉氏が保安部長となるや、西久保總監を後楯として私娼撲滅の大刀を眞向に振翳ざし、あらゆる難關を突破して驀地に邁往せられつゝある凛々しい武者振りは、眞に讃仰す可きものであつて、其眞勇と熱誠とは尊敬を惜しむ事を許さない感がある。

然れども好漢惜しむらくは兵法を知らず、賣淫問題に對する研究薄くして根本政策を誤り、他面に公娼擴張を行はんとしたるが爲めにヂレンマにかゝり、努力の甚しく浪費されつゝあるは國家風敎の爲めに遺憾の極みである。

私娼が賣淫婦ならば公娼も賣淫婦である。一の賣淫婦は之を迎へ一の賣淫婦は之を逐ふ、右手に春書を示して左手に利剣を揮ふヂレンマに非ずして何ぞやである、一の賣淫婦は之を東せしめ、一の賣淫婦は之を西せしめんとす。故に私娼撲滅が成功す可くんば公娼擴張は失敗せざるを得ない、公娼奬勵が効果を奏すれば、私娼撲滅は成績を擧ぐる事は出來ない。兩の力が平均すれば兩方失敗に終り、一方の力が勝れば一方は徒勞に歸す、公娼擴張によつて蕩兒の賣淫要求が煽揚されるだけそれ丈、私娼撲滅には無駄骨を必要とするのである。公娼廢止後の私娼取締が順風に帆を孕むに比し、難易測る可からずである。

思ふに公娼を以て私娼の代用たらしめ、以て取締の簡便を望まんとするは、極めて平凡な自然な尤もな考へであるに相違ない。乍併それは我國に於ては三百年前の思想であり、歐羅巴に於ては奈翁時代の思想である。大正の今日其儘之を踏襲しやうとするなどは餘りに庸暗な時代錯誤で、第三者から見れば大なる喜劇であり、原被兩造の國民は大なる悲劇の渦中に投込まれた譯である。世界に冠絶する堂々たる公娼制度を有し、而も私娼の跋扈に難じてゐる所以のもの、それ自體が既に公娼が私娼の代用をなすものでない事を語つて居るのでないか、何れの國に何れの時代に公娼によつて私娼の制せられたる例があるか、今日迄の實驗と學理とは明白に公娼

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

の私娼を抑制する事なきを證して居るのであつて、公娼の奬勵は卽ち淫蕩の奬勵であり、私娼の跋扈を煽るものである。根本に於ける此の研究を缺いだ爲め、折角の私娼撲滅に對して吾人は滿腔の贊同と感謝とを有し乍ら、公娼擴張に反對するに急ならざるを得なかつたのは遺憾千萬な事であつた。いでやこれからの所論を閱して反省を乞はなくてはならぬ。

□　□　□　□

「私娼が橫暴を極め、簡單、秘密、輕便、に遊び得る爲めに遊ばなくて濟む者が抑へられずに行く者が多い。近來花柳病が多くなつたのも、主として學生々活の者がまさか遊廓に行く丈の勇氣はないが、私娼あるが爲め輕便簡單なるが爲め禍を受ける。」

と氏は云れて居られるが之は甚だ尤もの意見である。故に私娼も公娼も出來得る限り撲滅し、純潔なる靑年男女の眼に觸れざらしめやうといふのであるならば、吾人は踊り上つて眞先に贊助する。乍併『私娼撲滅公娼擴張』といふ與へられた問題が既に兩頭蛇であつて、此の結構な御意見も果然矛盾に陷つて了ふ。卽ち私娼が簡單輕便なるは靑年を誘惑するとしつゝ、公娼を簡單輕便ならしむる事に力を注がれたのである。自己矛盾も亦甚しい。加ふるに學生が遊廓に行く勇氣はない等は、警察當局者として迂遠極まる話である。　遊蕩の風習は却つて私娼よりも公娼から始まるを常とする。それは第一私娼に接するは犯行であるが公娼は官許で恐るゝ處がない。第二公娼は私娼よりも露骨で掛合談判を要しないから素人向きである、第三吉原は名所であるから見物人として行き易いが千東町では知人に逢つた時の申譯がないから耻しくて行き悪い、第四一方は檢梅があり一方は檢梅がないから公娼を安全と考へる、第四別段公娼にも私娼にも接したいといふ程の野望がなくても吉原を見物したのが動機で病み付くといふ風に、公娼に接する學生、乃至年若の男子の登樓率は決して少くない。現に本年四月吉原に遊客が多かつたのは地方の中學を出たての靑年が專門學校入學の爲めに上京して、見物しては登樓するからであつた。爲めに日本堤署が樓主に嚴達を發した程である。保安部長丸山氏の知られざる處と見へる。次に

「娼妓は精密な健康診斷があつて、東京は三%乃至四の有毒割合になつてゐる。而して其患者は入院せしめられ治療しなければ出さない。密娼の檢梅結果は二八、七%で、千東町は藝妓を檢査する同一の醫者が同一の方法でやつた處によると八四、七%、であつた。今日は五四%位になつた。檢梅が絕對的の効力はないと言ひ得るとしても、三と五十四との差、然も一方は有毒期間入院を强制せられ一方は其儘客に接するのであるから、病氣に罹るプロバービリチーに於ては、如何なる議論も容る可きでない。」

といふて居られる。一體警視廳が非常なる努力を以て、此大方針を決行せんとするの問題の根本は茲にあるが、自分は丸山氏の此說を聞くに至つて其無研究を確認した程で、愚論が絕頂に達して居る觀がある。三と五十四では成程素人には大變に違ひないのだ。

乍併一體此問題は、公娼と私娼との優劣などを比較するのが根本からの誤りである、曩に述ぶるが如く絕對的の公娼制度といふものは有り得ないのであつて、公娼制度は敷いてあつても、公娼の外に幾倍の私娼が如何なる國如何なる時代にもあるのだから、直に公私兩娼を比較すべきでない。卽ち公娼制度にあつては（公娼＋私娼）で私娼制度にあつては單に（私娼）である。此二者の害毒が何れが大かと云へば、（公娼）＜（私娼）ではなくして（公娼＋私娼）＞（私娼）といふ事になるのがほんとうである。

此關係を知つて貰つて而して檢梅問題に移るのであるが、之は元來性質上常識論では不可い。專門家の說に聽從しな

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ければならぬ。と云つて吾人は復新たに、松浦博士や、プラシユコやブロツホや、ナイセルや、ジエーリンや、ヂウリングやフレツクスナ等の花柳病學の權威者の所說を繰返すの煩に堪へないから、茲には單に檢梅無効が最近醫學上の定論たる事だけを告げて置くが、それを無視する或は知らざる花柳病專門家でもない檢梅醫の所說（我國の檢梅醫は廣島縣を除くの外專門家を以て組織されて居らぬ。それだから今年も內務省は全國檢梅醫の講習會などを開いた位である）などに耳を假す雅量を有しない、何ぞ況んや素人の常識論をやである專門家が顯微鏡を用ひて數時間を要すといふ檢梅を、花柳病專門の敎育を受けざる檢梅醫が、而も肉眼を以て大膽にも二三分間に診察するのであるから、吾人の信用を置く可からざるは勿論で、傷の表面を見たのみで、傳染力の統計でないのはいふ迄もないが假りに百步を讓つて之れを事實とすれば却つて奇怪極まる結果を見出すのである。明治四十四年から大正四年に至る五ケ年間全國平均壯丁檢査に表はれたる花柳病患者は一・五％である、東京大阪の如きは三・三％である。長崎等に至つては四・九％を示して居る。して見ると僅に滿二十歳の青年唯一日の檢査に表はれたる統計よりも、賣淫を常住職業とする公娼の方が花柳病の少いといふ、滑稽千萬なる事實を發見するのである。今日の良心の痲痺せる檢梅醫は如斯炳乎たる虛僞の報告をなすのである。丸山保安部長ともあらう人は如斯燎乎たる虛報を信據して『如何なる議論も容るべきでない』と云はれる。實に天下泰平な話である。陸軍省の報告が最も皮肉に之を嘲つてゐるにも拘らず、娼妓が三乃至四％も凄じいではないか。併し之は獨り我國に於ける滑稽事でない丈氣が強い、千九百三年獨逸のライプチツヒに於て檢査したる娼妓の花柳病患者は四％であつたが、學生の方を調べて見ると二十五％あつたといふので一世の嘲笑を招いた。彼と此と東西好一對の喜劇である。

其上丸山氏は一方は有毒期間入院を強制せられ、一方は其儘客に接するといふて心配して居られるが、之亦研究の足らない議論で婦人が淋病に罹ると一生殆んど不治で、梅毒は少くとも四五年間隔離治療を要すると、花柳病學者は異口同音にいふて居る。然るに公娼は大概一ケ月以內で退院し客に接して居るのだから、傳染力が無くなつたのでも減退したのでもない、創の表面が稍癒へた程度である。現に最近洲崎遊廓では某樓主が、此頃轉勤になつて來た某檢梅醫は矢釜しくて困る、從來にない程ごし〳〵入院せしめる、自分の家は何人の內何人取られた。之れでは貸座敷は飯の食上げだ三業組合から何とか交涉して貰はねばと語り合つてゐた。恐らく何等かの交涉があつた事であらうと思ふ。そして此言葉によつて推斷すれば一軒の家からは何人迄位と略入院率が定まつてゐるものと見へる。丸山氏は恐らく其麼事は御承知ないであらう。

□　□　□　□

丸山氏は斯くの如き意見を以て、第一建築規則の寛和、第二張店禁止、第三飲食店兼業の三大改革を行ひ娼妓に外出の自由を與へ、非常門の開放等を斷行して次の如く辯じて居られるが、之亦矛盾と不徹底とに滿ちて居る。

「遊廓はなる可く近寄らないやう、入り惡いやうにする事に不必要な取締がしてある。それを減ずる事が經濟上遊び易い、又それによつて私娼が遊廓地に這入易くなるやうといふので寛和し……」

遊廓は本來隔離制度である、故に近寄らないやうに出來て居るのは當然である、淫行の賣買は奬勵すべき性質のもので

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

はない出來得る限り抑制しなくてはならぬ、故に入り惡いやうに出來てゐるのは當然である。それを『不必要な取締がしてある』とは思ひ切つた暴言ではないか、廢娼論を御熟知なきは止むを得ないとしても、隔離主義が分らぬやうでは存娼論さへ御承知ないと見へる。更に進んで『經濟上遊び易くする』とは何たる誤親切であらう。又曰く

「石造煉瓦造又は塗屋といふ制限を撤して木造を許し、三階以下三十坪未滿の建築を許す事とした。之は從來の矢釜しい建築規則が惡用されて、宏壯な華麗な遊覽地名所となつて、公娼廢止論者に論ぜられてゐるのは一面の理由があると認めて撤去したので、從來大資本を要する爲め開業が出來なかつた者が、小資本で開業する事が出來、澤山の資本を要せない結果暴利を貪る必要がなくなり、安く遊興する事が出來る」

貸座敷業者と遊蕩兒の爲めの御親切や至れり盡せりである。從つてそれだけ純潔な社會は迷惑を蒙る。我々が宏壯華麗なる遊覽地となれるを不都合なりとするを、眞實に尤もだとされるならば、何故現在の宏壯華麗な建物に破壞を命じて見すぼらしい物を作る事にしなかつたのであるか、それは勿論出來ない相談であるから、せめて新築を許さぬといふ條件を第一として改築の場合は木造三十坪未滿を許すといふ事でなくてはならぬ。然るに現在の建物を其儘にして置いて、其上建築規則を寛和して増築新築新開業を許すといふのであるから、取も直さず遊廓の擴張を策したものであつて之に廢娼論者の説などを持つて來るなどは迷惑千萬である、羊皮を纒ふて狼の尻尾を表はしてゐるものである。恐るべき毒牙が其下で磨かれて居るのだ。果然小資本で開業する事が出來安く遊興する事が出來る』と其爪牙を暴露して了つた。淫蕩の保護奬勵に非ずして何ぞ。

「張店禁止は、營業者にとりて容易ならぬ問題で、江戸趣味論者の有力な反對がある、併し他方には人道上から極論され、廓清會などに於て盛んに主張されて居る、張店の爲め素見客が這入る。娼妓自身からも動物の如く人道上必要と認めて斷乎禁止した。」

今次の大改革は根本より枝葉に至る迄、悉く改惡失政であるが、其中に就きて唯一つ而も絶大なる獲物があつて、吾人の嬉し泣きに泣いて當局者に感謝したいものは實に此の張店禁止である。丸山氏の勇斷の影響は現に大阪に及び忽ち大連に飛び更に高松市に及んだ、斯くして全國の一傾向とならんとしつゝある。人道上及び風紀上の効果に就ては前月號に於て詳記した如くであつて、此一事殆んど他の幾多の失政を償ふに足りる程の感がある、吾人は評論の筆が動もすれば熱して攻撃にのみ移らんとする時、茲に滿腔の誠意を披瀝して我が丸山部長に感謝の辭を捧ぐる事を喜ぶものである。

□ □ □ □

併し乍ら此の折角の張店禁止も、第三にバーの兼業を許可した事によつて、全然其光彩を失はしめて了つたのは、遺憾之に過ぐるものはない。張店禁止も或は人道上風紀上より起つた事でなくして、實は敵は本能寺にありで、バーの兼業をなさしめ、公娼を私娼化して興趣を新にし、蕩兒の要求を導かんとするの必要上茲に至つたのではないかと疑はしむる餘地を有して居る。張店禁止はバー組織の副産物であつたといふ樣な事は我等の想察する事を好まない處であるが、不幸に

して左樣な疑惑の餘地の存ずる事を否み得ない。卽ち

「第三に張店の場所の處分で、一面又始終酒席になるは飮食物の高價なる事である。簡單なる飮食物は自分の家で供給する事を認め、飮食店の營業を許し比較的廉價に供する事にした。遊廓が沒趣味なるが故に私娼が要求される、遊廓を認めて居る以上は簡單に廉價に供給し、興味多からしめて私娼に向ふ足を公娼に向ふ樣にせねばならぬ。」

バーの兼業許可は新方針中の最大失政である。此事さへなかつたならば我々は左迄反對する必要はなかつた。折角張店を禁止しても遊廓が路傍の氷店の如くなつて自由にサイダーを飮み正宗を仰る事を得せしむるならば風紀の頹廢は震慄す可き事となる。格子の外から素見した嫖客は腰を下して一杯理性痲痺劑を飮みながら、公然賣笑婦と膝を交へての言語と動作とは實に想像するだも堪へ難きを覺ゆるではないか、

濫ましの限りで吾人をして、國民道德の破壞、風敎の危機を絶叫せしめ痛憤歎起せしめた者は、蓋し丸山氏其人でなくして誰ぞ、氏にして眞に世を憂ふるの誠意があるならば、吾人の衷情を諒させられるに相違ない。然るに丸山氏は幸に眞摯忠誠の士であつた。一身を賭して危險なる私娼掃滅の大事業を完成せんとせられる丈あつて、誤つて改むるに吝ならずして、吾人の主張に耳を假して反省される處があり、バー組織をして八月一日から外部より覗く事を絶對に不可能ならしめられた。詳細前月號に記したから玆に省畧するが從つてバーの營業は何等の弊害がないのみならず、張店禁止の効果を偉大にして、吾人をして殆んど歡喜に堪へざらしめて居る。

(最近の報告によれば其取締が又緩んで大分娼妓が入口に迂路々々して居るさうである。果して然らば、余等の觀察したのは極めて一時的現象であつたのである。故にやはり根本的に公娼を廢止する外はないといふ事になる、一寸取締の手が緩むと又其通りである。)

バーの兼業が弊害のない事になつたとしても、吾人をして進んで曰はしむるならば、一體遊廓で酒食を許す事が間違である、吾人は公娼の廢止を主張するが故に其の改良論をしないが、假りに公娼を設置して之を改良するとならば、其第一條件は酒食の提供禁止でなければならぬ。公娼制度が靑年の性慾を洩らす爲めの、餘儀ない機關なりとするならば、之に飮食などを加へる必要はない、其動物慾だけを滿さしむるに止めなくてはならぬ。殊に酒の如きは絶對に禁じて、遊興など許してはならぬ。酒などを飮めばこそ醒めて悔ゆる樣な金と時とを浪費するのである。良心の許さゞる自他の人格破壞を行ふのである。病毒感染の抵抗力を弱めるのである。

□　□　□　□

丸山氏は又娼妓の外出を自由にした理由を次の如く說明された。

「娼妓の外出に就ては六ケ年も社會から隔絶して居つては廢業後役に立たなくなるから、社會に接觸せしむる事と世間話も一つ知らないで客の話對手になれぬから、公娼が面白くなく私娼が要求されるので、上野の花も見せ淺草の活動も見せてやる」

眞に若し丸山氏が六ケ年も社會から隔絶して廢業後の身上を同情せられるならば、外出の自由を與へるよりはもつと其目的に適切な方法を講せらるべきであつた。然るに茲に出でずして唯外出の自由を與へられたのみなる處を見ると之れ又客の話對手になるやうにするといふのが眞實の目的でなかつたかと推測するを妥當とする。娼妓の一身を思ふが爲めであるならば、第一彼等の自由を保護し廢業を容易ならしむる事に努力すべきであつた。第二に六ケ年の年期を一ケ年

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

位に短縮し、且つ其奴隷としての身代金を少くする手段に出づ可きであつた。

「次に非常門六ケを全部開放した。態々交通を不便にする理由はないと思つたからで、併し小學生などが近いから通學の途中を通るやうでは困るから、夜間丈開放する事にした。」

小學生は夜間は外出しない者と考へられたと見へる、且つ誘惑を受けたり惡感化を受けたり惡印象を受けたりするのは小學生に限ると考へられたと見へる。既に晝間閉鎖の必要を認め乍ら、夜こそ淫蕩の巷となるものを、夜は開放してもよいとは甚しい自家撞着である。此等の此の議論を綜合すると將來公娼制度は銀座の眞ん中か、丸ノ内か、乃至須田町邊りの大通りに持つて來なくてはならぬであらう。而して『公娼を認めてゐる以上最も便利に簡單にし、興味多からしめなくてはならぬ』と云はれるであらう。恐る可き意見である。

丸山氏の方針は要するに如斯公娼の保護奬勵にある。大正の今日許す可からざる秕政である。而も尚氏は『色々新聞や雜誌に誇張して書くから遊廓を擴張する樣に解する者もあるが、さうではない』と云つて居られる。鷺を烏とは眞に此事である、人が擴張と評するのではない、自分の議論が擴張論であり、其爲す處が勸奬ではないか、殊に『洲崎は現在の倍數以上收容が出來る、約二千人は入れられる餘地がある』と明言せられたでないか、之れで擴張でないといふならば、どうとでも言ふがよいのである。或は氏は遊廓を新に設置するでないから擴張でないといふお積りかとも想像せられる

□ □ □ □

私娼に對する撲滅方法に關しては、吾人は元より大賛成であるから、多くいふ必要は見ない。併し

「千束町や神明や郡代は永い歴史を有する處であるから急激にどう斯うする譯には行かぬ。自滅の方針を取る事にした」

といふ事であつて犯則行爲を鵜の目鷹の眼探しては營業の停止又は禁止を行ひ、婦女の檢擧をなし、廢業を勸誘し、(公娼になる事を勸誘せるは奇怪千萬也)て居るのは結構な事である。吾人も出來るだけそれを助成し度いと思ふ。淺草の如きは私娼といふよりも准公娼で、寧ろ殆んどレヂスタスされたる私娼の集娼制度と見る可きものである。吾人は決して如斯狀態を默認する事を許さない者であるが、撲滅の方法としては他に考がないでもない。寧ろ非常な勞力を以て何軒潰したとか云つて喜んでゐるやうな事をするよりも、而して寬嚴不公平の差と、銘酒店業者に網の目の洩つて惡業の繼續を念願せしむるよりも、一網打盡、向ふ一ケ年を期して悉く營業禁止の達しを出す方が、何れ程手つ取り早く徹底的であるか分らない。公娼制度に對しても又然りで、其自滅を策するよりも向ふ五六年を期して(貸借關係が大概六ケ年だから)廢止するといふ省令を出すのが一番である。それの方が簡單で無駄な勞力を省いて、而も當業者の轉業に對しても考慮と準備の猶豫を與へて親切な遣り方と云はなくてはならぬ。

殊に叩き散らした私娼の行衛を如何に監視しつゝあるかは大切な問題である。

最後に氏は諾威のクリスチヤナと共に、現代に於ける理想的廢娼地たる丁抹のコッペンハーゲンに就て述べられた。

「近來或る醫師が向ふの警察について實際調べた處を聞くと實は廢止の結果非

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

常に困つてゐるといふ事で、直接向ふの衛生課長が話し、色々の統計を示した之は亦實に意外千萬のお話である。何を根據に責任ある人が又聞きの話をされるのであるが、コッペンハーゲンは公娼廢止と共に、花柳病の無料治療と强制治療を市民全體に命じた爲め隱れてゐた數字が段々統計に上る關係を知らなくてはならぬ。其れに就て安部副會長が親ら態々下段に說明の勞をとられたから御熟讀を得たい然るに丸山氏は此事實を誣いて「世界何れの國にも賣淫政策の好成績を見た處がない。私共の此努力は或は最も勝れたる卓見であるかも知れぬ。」と、結んで居られる。コッペンハーゲンやクリスチヤナを解せずして賣淫政策を語るに足らないが、前人失敗の跡を繰り返して而も勝れたる卓見であるかも知れぬとは、恐入つたものである。

余は終りに丸山氏御自身の言葉を借りて本論を結ぶ事とする。即ち『性慾の要求は他の比例と異り、或程度は抑制し得べきもので、放てば非常な勢ひを增す。放つか放たぬかによつて大變化がある。故にこれ丈のものを差上ねばならぬといふ事が行政者として道義心を指導する適當なことであるかどうか、大に考慮を要する事である』と。

こは實に立派な議論で、余の結論とすべきものである。從つて丸山氏御自身には痛烈な自家撞着でなくてはならぬ。

吾人は丸山氏が既に之等の所說に對して其誤謬を自認し屑く吾人の主張を容れて第二の改革を試られたものと信じてゐる。故に此議論に駁擊を加ふるは或は死屍に鞭つものであつたかも知れぬ果して然らば吾人は謹しんで其事を深謝する。希くば社會問題に造詣と熱心との深厚なる忠誠の士丸山鶴吉氏が、更に反省一番適當なる施政に出でられん事を妄言多罪。

廢娼主義の成績

安部磯雄

ノールウエーの首府クリスチヤナは一八八七年公娼制度を全廢したのであるが、一八七六年より一九一一年に至る統計表を見れば公娼全廢後の成績は極めて良好なるを知るべし。左に示す表に於て第一段は淋疾、下疳、及び徽毒に罹れる患者の人口百人に對する割合を示し、第二段は人口百人に對する徽毒患者のみの割合を示すものである。

年號	淋疾、下疳、徽毒患者	徽毒患者
一八七六	一、二八人	〇、五三人
一八七七	一、二八	〇、三一
一八七八	一、三七	〇、三〇
一八七九	一、五八	〇、三四
一八八〇	一、三九	〇、三九
一八八一	一、九九	〇、四三
一八八二	二、〇七	〇、四四
一八八三	一、五五	〇、二六
一八八四	一、四五	〇、二七
一八八五	一、三二	〇、二五
一八八六	一、三九	〇、二三
一八八七	一、一八	〇、二三
一八八八	〇、六六	〇、一八
一八八九	〇、七五	〇、二三
一八九〇	一、〇〇	〇、二六
一八九一	〇、九五	〇、三一
一八九二	一、一三	〇、三七
一八九三	一、一八	〇、三二

年號	淋病、下疳、徽毒患者	徽毒患者
一八九四	一、三二人	〇、三四人
一八九五	一、五二	〇、四二
一八九六	一、四八	〇、四一
一八九七	一、六九	〇、三六
一八九八	一、六七	〇、四〇
一八九九	一、五六	〇、三七
一九〇〇	一、四四	〇、三一
一九〇一	一、二七	〇、三〇
一九〇二	一、二四	〇、二七
一九〇三	一、二七	〇、二九
一九〇四	一、一一	〇、二六
一九〇五	一、〇三	〇、二三
一九〇六	〇、八二	〇、二一
一九〇七	〇、六八	〇、一八
一九〇八	〇、七八	〇、二〇
一九〇九	〇、八二	〇、二二
一九一〇	〇、八六	〇、二一
一九一一	〇、九六	〇、二二

コーペンハーゲンは一九〇六年に公娼制度全廢を行ふた。其後の成績は年數の短きため充分ならざれども左に之を記す

年號	淋病、下疳、徽毒
一九〇七年	八、三八三
一九〇九	九、二八〇
一九一一	九、八八八

年號	淋病、下疳、徽毒
一九〇八	九、九五七
一九一〇	九、三七八

其數は五年間に於て一割八分の增加なれども、其間に於て人口は八分の增加を爲して居ることを記憶せねばならぬ。且つ公娼制度を廢止して徽毒患者を無料にて治療することとなれば一時患者數を增すに至るは當然の事である。

廓清春秋

河合北洲

秋の懐に

タイムの自動車に駕し、夏の日光浴より、秋の深山幽谷に急ぐ。光と熱に溢る丶日光浴は、夏日の浪漫生活也。閑寂の靈味を嘗むべき雨と夜の生活は、冥想の深山幽谷也。夏に遠心の身は、秋に求心の懐に歸る。

冥想の燈下に、古人の深山を穿ち、心友の幽谷を慕ふは、内的生命の饑渇に迫れば也。心疾育情の煩悶に忍びざれば也。愛欲渇仰の孤獨に堪へざれば也。其何れたるにせよ、反省のX光線は自己の胸底を讀破せざるに非ざるも、膏藥的の修養書、寒鴉枯木の宗教談に、現狀打破、局面展開の活機ありや、否や。彼等の握る金言聖語のメスは急所の切解に徹底せず、創傷の治療に顧みて他を言ふ、活人畫の倫理、葬儀の宗教に何をか求めん、木乃伊取りの木乃伊たらずんば幸也。强ひて、起死回生の天機を求むれば、只一あり、曇れりと雖も人子相傳の心鏡あり、汚れたりと雖も小宇宙自ら經典あり、此心鏡を磨き、此經典を開きて、大宇宙の明鏡、神心の經典と照合するに在り、面々相照破する所、反射作用の同化作用に變ずる刹那、靈雨は注ぎ、靈熱は沸騰して、内的生命に一大革命を見る。新生命は戰の子也。神國建設の義軍に挺身して、戰はざるに犬死あり、戰ふも又討死す、死一なるは死所を撰ぶに如かざる也。死せる夜雨の祭壇上、刻み行く冥想の飛行機に、昇り騰りて天心の靈機を滿載し、降り下りて外なる人の潜航艇に投じ、生活難、處世難の風濤激浪と戰ふ、敵艦サタン號は眼底に在り、彼を擊碎すべく皆を決して立てば、行くは生乎、還るは死なる乎。

秋の宗教

宇宙語らず、自ら宗教あり。清新は春也、生々の野に耕し、種を播けば、五風十雨に歎美の花開く。熱烈は夏也、克己の實行に培ひ、耘らば、草木

遊廓物語（一）

▲樓主の自廢勸め▼

救世軍婦人救濟係

伊藤富士雄

自分は過ぐる大正元年から今日迄引續き婦人救濟に從事して居るが、其内公娼の自廢を助力して其目的を遂せしめた數は殆ど五百名である。其都度樣々な喜怒哀樂の情話を聞いた中で、最も罪のなさ丶うな事實を紹介して見たいけれど而し自分は禿筆であるから、述べ盡す事の出來ない點の多いのを殘念に思ふ。

其麼馬鹿氣た話があるものかと思ふかも知らないが、事實だから面白いのである。洲崎辨天町一丁目に大梅樓支店といふ青樓がある。樓主は固と妓夫であつたが漸次身を起して、今では區會議員といふ片書付きで大分鼻息を荒ましくして居る有樣だが、不思議な事には此樓から娼妓の自廢が續出するといふ妙な現象加も樓主は廓内に於ける娼妓養成に掛けては人後に落ちないといふ先生の本元から、後から〱と娼妓が飛び出すので、段々調べて見ると次のやうな原因を發見する事が出來たのである。

其の樓主といふのは固と芝札の辻、某電機商會に務めて居た男、性來丹精が良いので十數年間に二三千圓許りを貯蓄した。處で妻君を迎へると此妻君が娼妓上りなので、女郎屋の儲かる話を吹聽し其結果夫婦會

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

に賑々感動の繁茂あり。秋は收穫の感謝に跪きて、花より紅なる紅葉に赤心を吐露せば。冬に冥想の休養を纏ふ、雪白の聖衣にも希望の新世界は孕む、人は宇宙の宗教に同化し、宇宙も亦人の宗教に感應す。

感謝は秋の宗教也。纍々たる果實の音讃に、鳥雀は高調し。青々たる蔬菜の膝行に、禮文の祈禱は朗かに。穰々たる五穀の聖經に生命の源は流れて、宇宙の何處にも感謝の靈光は溢る、暖日の暖か、見月の明か、花に精あり、風に色あり、萬物生動して、天地叫ばざるに叫ぶ。

宇宙何ぞ壯嚴なる、眞善美の聖樂は高く響渡るも、智情意の禮拜に、絃聲の斷絶あり、破調又破調、醜絶又醜絶。整調をはかる十字架上の苦衷に紅血は淋漓たり、聖愛の薫香は切々として人に迫る。

我所謂宗教とは何ぞ、天と地と人の神に事ふる道也。此道傍に神は立てり、神の立てる所、天には榮光、地には平和、人には恩寵ならざるなし。

收穫の感謝

希望の彈丸に百發十中なく、奮闘の價に收穫の半沸なしとも、希望の春、奮闘の夏を送れば、秋に收穫の感謝は來る。

流彈何處よりか來る、夢幻は何處にか迷ふ、一夢の成功、一夢の成金に、道ならざる道を求むるものあり、一夢は絶無に假るも、覺めたるものに覺むるに非ざれば、一夢は絶無に如かざる也。案山子に覺むる悲哀あれば也。哀は秋の夕暮のみに非ず、夕暮を製する人の心に在り。日の下の事は皆空しと云ふ。空しきに非ず、空しくすれば也、空しからざるは我、我行くべき道に迷ひ、重きを負ふて夜(晝を避けて)遠きを行けば也。我行くべき道は二つ、塵は塵に、靈は靈に還る、我靈は何ぞ必ずしも虛榮の衣を要せんや、乘潰したる煩惱の馬に乘りて、塵の國にわれ落行くべけんや。我には赤裸たるも尙行くべき靈の故郷あり、自然として渾然、我は我を盡すの我に、我道あり、我光あり、我小宇宙あり、大宇宙なる父の心を爲すは則ち我の飾るべき錦衣也。刈るべき我の全收穫也。我豈に感謝せざるを得んや。

風と公孫樹

闘の上其樓を娼妓付きで讓り受けたのである。而して御亭主たる者は明暮長火鉢に脛押しの算盤で太平樂を並べ立てながら、其實儲けと來たら濡手で粟の摑み取りといふ涎の垂れさうな旨い事を妻君から聞いて眞に受け、借りめて見たが事實はがらりと外れて日々の缺損此麼筈ではなかつたがと妻君頻に、頭を傾けて考へて見たが勘定合つて錢足らずの例で如何にも詮方なく、到頭見切を付けて居る處へ幸ひにも今の樓主と讓り受けの相談が纒つたのである。

其處で行き懸けの駄賃といふ譯でもあるまいが、前樓主熟々案ずると良心の苛責に攻られたと見え、自分も此麼商賣を廢めるに就ては、同じく娼妓にも廢めさせたいと人間らしい考が浮んで來た。そこで一人宛娼妓を呼寄せ實はこれ／＼の次第で自分は今度廢業するけれども、お前逹も靜に身の行先を考へて一刻も早く此商賣から身體を拔くやうにしたら何うか。夫れには救世軍の手を借りて自廢するが一番早い。然し今では困るから、今度の樓主に渡して了つた後で、一人々々宛ボツリ／＼と逃げ出して救世軍に駈け込むなり、又は手紙を出すなりしてお互に廢業する方法を取つたら良いだらうとの眞實を罩めた言葉に娼妓は時の來るのを待つたのである。それが爲めに今の樓主が讓り受けて間もなく、一人宛型の如く本部へ手紙を寄こしたのであつたといふ事が判つた。引受けた新樓主こそよい面の皮である。事實は單に之れ丈けであるが、面白い一の話柄であらうと思ふ。

次は娼妓の損料貸しの失敗話

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

秋風は皮肉の巨箒を振つて、千草萬木の衣を剝げば、赤裸の林立影寒し。此國に此樹ある公孫樹、天に矗立する前世界の遺樹也。彼勳章を樹葉となして、金風に袖を拂へば、千葉萬葉樹下に黄金の座を敷き、百顆千顆墮する銀杏に珠玉を綴る、仰げば堂々たる巨人に非凡超脱の權威あり、權威何ぞ語らざる。

一風來つて虚榮の夢を授け、一雨去つて呼吸の根を洗ふ。風雨は宇宙の一呼吸也。生死は人生の常道也。財權に何の權がある。智力に何の力がある。人生最後の抵抗力は道に在る國士也。神に立てる人格也。彼等の生命は不死の生命なれば也。不死の生命に渇仰の眼を閉ざして、虛榮の影に崇拜し、沐猴尚ほ衣冠の踊りに禁せざるは、俗眼凡耳の悲慘也。押すな、押すなの成功狂に、前者の既に覆りつゝあるを知らざる後者の盲進憐むに堪ふ。見ずや、一將功成らずして、萬骨既に枯るゝを、寄來る秋風は、これ萬骨の音波に非ずや。

高節の國士、不朽の人格、正に物界より靈界に亘るの權威也。權威は一日に成るに非ず、縱に幹枝に延び、横に根據を張る、向上又擴張、雷電に幾萬年の昨を送り、風雨に幾萬年の今を迎ふ、七世啻ならざる亭々たる公孫樹に、刻める權威の垂訓を讀み、墮する銀杏の一顆にも新生より永世に亘るの神秘を傳ふ。

花の秋

ダリヤの艶麗に、時代婦人の冶容を讀み、菊花の隱逸に舊婦人の意氣を見る。國技館の翫弄菊細工に至ては妓婦の墮態也東籬の下、風霜に傲り、芳香を含む、凜たる仙姿に婦人の貞操美を聯想せざる能はず、徒らに時代の風潮に折り折られて、落花狼籍たるは花の秋也。花盜人の猛々しさにも鞭撻の價なき能はず。

刺ある栗を盜むは難く、籬ある庭には無斷入る可らず、薔薇に豫防の刺あり、菊に禁斷の籬あり自他の防衛は自他の權義なれば也。

日本婦人の蹴出しは、見る者に姦淫を促すものなりと云ふ、支那人の肉觀に大臭味あり、國風の亂雜此の如く、媚風の必要も亦此の如し。

空を擊つもの

山野に小銃ノ聲を聞かずや。

街衢に疾呼の聲を聞かずや。

山野に禽獸を銃擊せるは、獵期の獵芥也。街衢に疾呼せるは、同胞の禽我獸我を打つて、靈我を捕へんとする基督教徒の大擧傳道也。貞操迷論の山寨を陥落すべく、媚風會廊清會も亦塹壕戰より砲擊戰に移る。

擊たるゝ禽獸は幸也。人の禽我獸我に生くれば也。打たるゝ禽我獸我も幸也。神の靈我に生くれば也。獲物の大なる物は此生きるの喜び也。此のうち最も大なるものは、打つ者自ら空を擊たざる神に生くるの熱心是也。

何の大國民ぞ

過て改むるに憚るは日本政府也。義を見て爲すの勇なきは日本人也。大阪飛田事件の如き遷善改禍すべき小の小なるもの也。而して何者ぞ大の大となす。

斯くて何の大國民ぞ、何の一等國ぞ、何の風俗取締りぞ、何の敎育ぞ。

最も敎育を要するは日本政府也。政府の官吏也。

——(五、一〇、二〇)——

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

人生と宗教眞髓

日本基督教會牧師 植村正久

□人生と宗教

耶蘇旅路に疲れて、とある井の邊に、休息して居られた。場所はサマリヤの或る地點であつたが折しも一人の婦水を汲まんとて、其所へ來たから、

『我に飮ませよ』と云はれた。

此要求が端緒で興味深き問答が開始た。

『日ざかりの路ゆきなやむ岩が根に
死なぬくすりの山の井の水』

耶蘇『此の水を飮むものは又渇かん。然れど我が與ふる水を飮むものは渇くこと無し。其のうちに泉となり、湧き出で、永遠の生命に至るべし』。世上如何なるものも人の心を滿たし、其の慾求を飽かしむることは出來ぬ。飮みても復た渇く。求むべきは各自の胸中流れ盡きせぬ生命の泉である。

道のサマリヤの婦は既に五人の夫をも持ちたる程で、世の苦痛身に沁み、煩悶の間に歳月を送りて、氣分も餘ほど荒廢れて居た。耶蘇の言端なく彼女の急所に觸れしものか、

『主よ我が渇くこと無く、また此所に水を汲まんとて來らぬ爲め、其の水を我に與へよ』

彼女は人生の問題を提げて、彼にも此にも安心を得たく思つたのである。然し其の求むるところ未だ徹底して居らぬ。彼女が自ら感じて居るよりも深き要求のあるに心附ぬのである。まだ魂の本音を出して居らぬ。故に

耶蘇『汝の夫を喚び來れ』。

此の一言に彼女の醜き悲慘なる品性が念頭に露はれ來りて、其の良心を刺激した睡れる魂が喚び覺されたのである。

婦『我らの先祖は此山にて拜しゝに、汝らは拜すべき所はエルサルムなりと云ふ』。彼女宗教の問題に觸れはしたが、道に內外の別有るかの如く、禮拜の場所に泥み、頻りに形式や習慣の問題として、危くも道を學ぶの方向を誤らんとした。

耶蘇『此の山のみに非ず、またエルサレムのみにも非ずして、父を拜すべき時來らん』。道に內外なし。萬國共通のものなるを要す。最も大切なることは信仰の對象如何の問題である。其所で言はるゝ樣

『汝ら拜するものを知らず、神は靈なり。靈と眞とを以て之を拜すべし』。世の人の神とする所のものは、多く見當違ひである。神の神たる所以のものに昧い。あられも無き意味に於て所謂信心に耽つて居る。神は靈活なる人格的のものである。道念と靈覺とを以て之に接觸すべし。利害心の如きものゝ動くのみにては、眞に之を禮拜することは出來ぬ。宗教は有りの儘でなければならぬ實在を貴ぶ。其の筋の達しや法令の規定に依つて立つもので無い。總て天地宇宙の事實と一致し、物の眞相を表出したものでなければならぬ。斯く考へ來ると正しき意味に於て禮拜す可きものは獨り耶蘇基督の顯彰せら

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

3－960

れた靈活にして人格的なる獨一の主宰、天の父の外あるまいと思ふ。

□人生と基督

耶蘇は誰であるか。人なるか。神なるか。此の問題は基督者と非基督者との間に常に議論せられて居る。釋迦や孔子に就いては世人斯る問題を提出すべき餘地を見出さぬ。獨り基督の斯く研究せらるゝが既に不思議なことである。耶蘇はナザレの人である。三十歳まで大工を業とした。傳道に從事すること三年、其の弟子はガリラヤ湖の漁夫どもで、門地も勢力も無かつた。富力の後援なく、學校の力を藉らず、政權に頼まず、たゞ人格と眞理との權威に據りて道を傳へた。『我れ若し擧げられなば、萬民を引き寄すべし』とある如く、其の立脚點は十字架上である。然も其の感化今日の如くなるは、驚くべき事實である。

其品性は萬代に至るまで人類の儀表である。倫理道德の實現である。何人も之に罪過あるを認めぬ。品性の機微に精通して、正邪の鑑別極めて透明なる彼自身は其の良心に少しも疚しき所あるを覺えぬ。神の前にありても何等後暗き所あるを意識することが無かつた。神と彼との間には道德上の障壁が無かつた。イエスは全く罪過なき人で道德上些の缺陷なく玲瓏玉の如く完備せる人格であつた。イエス自身が斯くの如く一大奇蹟である。神は在天の父である。神の家に於る如く世に住み、其の子たるの分際に安んじ孝道を旨とし、之を樂みて祝福圓滿なる人の理想である。然れども基督の外何人が我こそ神の子なれと名乘り出る者一個も無い。多くは神を知らず、之を念頭にも留めず、己が腹を神とし、世の事に沒頭し、全く神の家を外にする境界に沈淪して居る。斯るなかに獨り耶蘇が神の子である。我らの如く或ひは神の子と爲り得す、或は然か爲り失ね、或は然か爲らんとし、或ひは辛うじて然か爲りたるもの、未だ子として眞に其の身を立つるに至らざる如きとは全然異なりて彼は初めより神の子である其の本來の子であり然か爲りたるにあらで、素より然かありしものである。ナザレの耶蘇は神の獨一の嫡子である。之に由るものゝみ神の子たることが出來る。

「即ち此のナザレより出たる耶蘇は神より聖靈と才能を以て膏を沃がれ、周遊りて善事を行ひ凡て惡魔に憑れたる者を癒せり。蓋神かれと偕なりしに因る」斯くの如く神の子たるイエスに由りて世界は神の父たることを知り、其の愛を認め、生命の意義を明にし、其の歸趣を悟ることを得た。イエスの弟子に非ざれば宗教的に神を知り難きは人皆の承認するところであらう。イエスキリストは確かに豫言者である。信仰の權威である。『我ら救はれん爲めに何を爲すべきか』。此の千古の疑題に對して正しき解決を與へ得るものは、『父よ彼らを赦し給へ』と十字架上に祈られた基督の外あるべからず。獨り基督のみ吾人の罪惡を處分することが出來る。確かに祭司である。基督は罪が無い。彼は十字架に於て罪の勢力を討ち靡け、其の根據を切り崩した常勝軍である。世と罪惡とに向つて苦戰しつゝある吾人基督の旗影に身を寄せ、其の威力に由りて終極の勝利を期待する外には活路が無い。彼は正しく靈界の王者である。是實に我が主、又我が神である。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

□人生と神

神なし、と主張するは容易なる業でない無しと認むべき理由を擧ぐることは甚だ困難である。

人は天然宗教的である。鐵の磁石に吸はるゝ如く、神に引き着けられて居る。之を信ずるが其の自然である。何處に往きても、神と接觸せざるを得ぬ。仰げば穹蒼が既に神の榮光に輝いて居る。地には野邊の百合梢の鳥みな神を語りて止まぬ。山を拔き世を蓋ふの豪傑も謀破れ力盡きぬれば、然しもの常將軍己れ以上の何ものにか仕て遣られたりと感じて、畏れを懷くに至る。其志凡庸よりも高き聖賢は、自ら目に見ぬ友を認めて我を知る者は其れ天かと云ふ樣になる。吾人は道念に於て神と相接し、神と相觸るゝのである。神の清きを感ずるとゝもに我が汚れたるを覺ゆ。神の命令は道である、然れども之に從はぬ。常に迷つて居る。想ひ此點に到れば、我は神の罪人である。責任を問はれて居る。神の被告人唯恐縮する外は無い。議論よりも證據は重い。神ありと認むるところの信仰は、實に大いなる活力を世に及ぼして居る。向上の原動力である。慰めもし援けもする。之が爲に宛ら雛の牝鷄に於ける如き經驗を有する人が夥しく有る。確に神は精神界の實力である。實驗することが出來る。無神論懷疑説などの無能爲すなきがごとき類ではない。

『語らず、言はず、其の聲聞えざるに、其の響全地に遍く、其言地の極にまで及ぶ』。神は言ふのである。時としては人をして之を語らしむ衆民の聲も正しき意味においては神の語と聽き取らるゝ場合がある。此の『靜かなる微細き聲』外より響き内より聽えて、訴ふるが如く諭すが如く規箴るが如く敎へ導くが如くである我も之に對して答へなくして止み難く覺ゆ。其所で祈ることが起る。即ち神と人との對話である。祈りは宗教の生命、信仰の呼吸、世の行路の慰藉活力である。進歩の元氣である。惡に克ち善を行ふの雄語である。曰く

『天に在す我らの父よ。御名を崇高させたまへ。御國を臨せたまへ。御旨の天に成る如く地にも成させたまへ。我らの日用の食物を今日も與へたまへ。我らが他人の罪過を赦す如く我らの罪過をも赦したまへ。我らを誘惑に遇しめず惡より救ひ出さしめ給へアメン』（アメンは眞實無妄の義なり）

如何に向上的にして志の公明なることよ。如何に敬虔にして、謙遜なることよ。斯くの如く罪を悔て、神の赦しを請ひ求むる國民は偉大である。

『日々の食物を今日も與へ給へ』節約仰損の精神に富みて、神に信賴せる平和如何に洋々たることよ。德を修め道に進んと欲するの念充實して、人格完成の確信山の如く、戰勝の意氣、惡魔も既に退治せられたらんやうに感ぜらる基督者は斯の格で世に立つのである。

離婚數に於て卓絕

統計局の調査に依れば世界に於ける離婚數は結婚者二萬に對し英は二、獨は二十、佛は三十一、米は八十二、日本百七十三の割合なりと。此統計は必ずしも同一基礎の上に立てられたるにあらず、英の如き離婚禁止を原則とし、別居の名の下に離婚同様の狀態にあるもの少からずといへども、日本が離婚數に於て文明國間に卓絕せるは既に定論の存する所なり。而して之が原因としては、男女關係の觀念、家族同棲の習風、其他種々の事情を擧げ得べしといへども、斯かる問題が世間識者間の注意を惹かざるは之又國民の恥辱也。

南米の賣淫取締に就て

古　弦

私は一介の小僧である。商人の卵子である。決して道徳を標榜する資格も何もない、だが廿三にして外國に出るまで、吉原を見ず、藝者を知らなかつた。で外國で、日本と言へば藝者ヨシワラと連想され、且つ語られるには其度毎穴へも入りたい心地がした。

私が十四五年振りで歸て見て、更に其が旺盛になると聞ては、實に言ひ樣のない程嫌な心地がする。

□最初の愕き

私は十四五年振りで故國へ歸つたものです。夫も人樣の樣に歐洲とか北米とか云ふ偉ひ所に居たのでなく南米の最南ブエノスアイレスと申す市に此長日月を夢の樣に過した。學もなく識もなき、實に取柄のなきものですが、先月横濱に着いて、各種の新聞を購ひ取てどんな新しい事が故國にあるかと讀み始めたら、どの新聞にも、私娼撲滅とか公娼獎勵とか、大々的二號文字で、世界を變轉させる大戰爭などは却て影薄く見受けられたので先づヒドク肝を拔かれました。日が經つに從つて之は近頃東京の警視廳で私娼撲滅を行なひ、普通一般の手段では駄目なので、公娼の制度を緩かにした結果だと聞て更に驚を深くした。つまり爲政者の意志と威嚴が絶對的に弱いものたる事を表白するに過ぎないからである。

□亞國取締の變遷

私の居た國は御承知の通りの新開國ヤット近年殖民時代の色彩を除かうとしてる位、首府と來ては人口百五十萬、家屋街路の美こそ世に誇れ、形而上文化の發達と來ては世界中の劣等なる土地である殊に羅典民族を主としてる土地であれば風習の華美、人心の遊蕩なるは言はずもがなである。然るに公娼私娼の取締に至ては、却々我日本の學ぶべき處があると思ふ。つまり公娼廢止の論なんて事は私達の口にし得ざる難事であるから、只今は今回の警視廳の方針實施の是非を見る爲に彼國の公私娼取締りを述べて見よう一等强國の日本はどの位三等强國の亞國に勝れて居るかを見る爲に、

亞國でも廿年程前までは集娼制度を採つて居た。今では町の良い所になつてゐるが、當時では町端の一ブロクを妓樓に當てゝあつた、處が家屋の建築上や其他の事情から、如何にも犯罪の構成が多くて可かぬ。頻りに警察事故が殖るので十四五年前に散娼制度とし、市中至る所開業、但し一ブロクに二軒以上相成らぬ事となつた。で僕の行つた時分は市中至る所、娼家ありであつた。で普通の居住と區別する爲には娼妓の住家は一切道路に向へる窓を開く可からず、入口は不透明の磨りガラスにして燈火を外部に掲ぐ可からず、庭は一切掩をして外部よりノゾキ見の出來ざる樣する事等であつた。此家の娼妓は夜外出する事叶はず、家に居て客を待つのである。只私等の所謂一本立娼妓は盛に市中を跋扈し、行人を引張る事甚しかつた此時代が、彼地では娼

妓全盛時代で、其後千九百十年頃に至り警視長官は一大痛棒を彼等に與へた。と云ふのは娼家の武市中央部に存在する事を嚴禁し、市の下部分或區域内に追拂て了まつた。此時彼等醜業者は四十萬圓からの賄賂を使つて市役所、警察の買收にかゝつたが効がなかつた。同時に私娼を嚴禁した、少なくとも極高等の娼にあらざれば一本立で使へぬ事にした。

□嚴禁の成績

退居を命ぜられた公娼業者は命令の地域内に開業しやうとしたが、其には亦條件がある。重なるものは第一公共建築物又は學校寺院の存在せるブロクに開業を禁ず、よし他ブロクにても百メートル以下の距離内に開業すべからず、指定區域は狹くし、此種の建物は多しで、先驅功名で一寸申遲くれたものは、百方袖の下を使ふても効能薄く、エー此國ばかりに日は照らぬと他國へ逃げたも約二百、娼妓約五百、八分の一程を減少する事が出來た。夫から一切の酒類販賣を禁じた。

併し何分ダラシのない國ではあるし、中央部に遠かつたので客足は遠くなる、で彼等は私娼を先達に頻りとサーカスに押寄せた。武市に娼婦の出入を許すサーカスが只一つある。が之で足りないので巴里風や獨逸風のカフェーシャンタンが雨後の竹の子然と市の中央部に殖へて盛に私娼が出入りする公娼も追々來ると云ふ事になつた。が何分私娼は一本立で威張てるので公娼は幅が利かない、要するに彼等は籠の鳥で了る處が三四年前に英國崇拜の人が市長になつたので施政の第一着として、一切の飲食店其他の營業妓樓も凡て夜十二時限り閉戸消燈の命令を發した。滿市一齊の抗議に此訓令は取消された。其所は維典民族である夜の人民の國である、然し警察は娼家に對しては別に方法を採つた。即ち娼家は午後四時開戸午前四時閉門私娼は道を散歩するを許すも、苟も男子を誘行する態度を示す時は直に拘引、初犯罰金卅圓、二犯五十圓、三犯後は體刑但し警官(警部以上)にして市街を散歩せる女子にして私娼たり公娼たる確認ある時は何時にても拘引するを得となつた。さあ大變娼妓先生達はウカリして事が出來なくなつた。場末では商賣が少なし一本立でと中央に出てくれば捕へらるゝ。夫でも賄賂の力で方々の室を恐しい高價で借りて内々に行つてると、今度は市役所の檢査官が遠慮なく踏込んで來て、退居を命ずる、聞かざれば警察力を以てする。

□三等國に學べ

かくして、追々と武市の淫賣は年々減少一方であつたのに、又々今度は市役所から公娼家に對し、更に一層邊鄙なる區域内に轉居を命じた。益々娼家の數を少なくする方針なのである。

之が一寸した一概である。要するに放漫遊蕩の氣に滿ちて居る。天性浮華な南米の三等國でも淫賣の奬勵はして居ないむしろ漸滅の方針を持つて居る。而も國情として日本などゝは同一に論じ難い、大に恕すべき事情のある土地である。

序に言ふが、彼國では此商賣から一厘の税金も何も徴收しない、まさかに淫賣の税を以て教育や軍隊費用に充てる事も出來まいから。

取消 前號宮田修氏談話として記したる好色本に關する件及び德富氏に關する件は事實全く相違せるにつき取消す。

飛田遊廓設置反對運動經過

小林隆之助

□暫時社會から忘れられた樣な感があつた飛田遊廓設置反對運動は運動資金の之に伴はざるが爲め時に一頓座を來たしたやうな傾きはあつたけれども、其都度熱心なる後援者が續出し今日迄支障なく運動を續行し來つたのである。主に敎會を中心に大阪市內の各敎會で度々反對演說會を開き、一方其筋へ陳情書を提出する等決して怠つては居らぬのである。而して飽く迄此主義の貫徹を期して止まぬ決心が時經るに從ひ益々鞏固になりつゝある。

□十月廿日反對同盟會を代表して湯淺豐太郎、淸水芳吉の兩氏上京即日首相邸並に內相官邸に首相內相を訪問し、設置反對意見を縷々陳述した。

□廿一日は反對の示威運動を爲すため母の叫び日さして、矯風會支部を本陣に午前十時より集り來たれる母達の反對祈禱會を催し、夫れより百五十餘名二列さなつて矢島楫子女史先頭に府廳へ押寄せ、府知事に面會を求めたが、知事は之の勢ひに怖れたものか不在さ稱して會つて吳れなかつた。止むを得ず千百廿一名が署名捺印した左の願書綴を新妻內務部長の手にに渡して引上げた。

飛田貸座敷免許地指定取消御願

私共婦人さして又母さして、國家に盡すべき務めの最も大なるものは、善良にして强健なる第二國民を養成致すにありさ存罷在候。然るに今春突然にも私共の子女の爲めに唯一の運動場たる天王寺公園を距る僅かに二百間餘の所二萬坪を新遊廓地さして指定せられ候事は實に慨嘆の外無之。凡是れが實現せられ候曉には敎育上最も注意を要する靑年學生の幾千が、朝夕此遊廓を通過しながら登校する樣に相成、其惡感化の及ぼす處如何に大なるべきか、誠に寒心に堪へざる次第に御座候。抑も德義は耳より入るものさ申候殊に惡に誘はるゝ力は善に赴くの力より數等大なるものなる事は私共母たるものゝ日常實驗して深く憂ふる所に御座候、されば右遊廓地が今尙指定せられしのみにて未だ現實さならざるを幸ひ是非共此際指定の取消御斷行被成下私共の子弟を陷れんさする一大陷穽を取除かれんこさを謹んで奉請願候。

大阪市　區　町　丁目　番地

願人　年　月　日生

□右さ引續いて大阪支部委員林歌子女史上京、矢島揖子女史さ共に曩に大阪府廳新妻內務長へ提出したるさ同樣取消願書提出の爲め廿五日內相官邸を訪れたるも折惡しく不在の爲め面會するを得ず、願書綴のみ提出して引上げた。

□尙其他本部伊藤主事の執筆された菊版百五十頁の反對意見書を貴衆兩院並びに主なる敎育家に、松浦博士の花柳病より觀たる公娼制度、故加藤男爵の敎育家に與ふるの書等のトラクトを全國各中等學校長に配付し或は新聞記者を招席して意見を述べ講演會に檄文に猛烈なる運動を續行中の處、遊廓設置の認可を與へた大隈內閣が倒れ、之れに代つて立つた寺內內閣は、前內閣の之等方針に多少反對の意見を持つて居るさいふ事であるから、此際尙一層發奮して運動を試み指定の取消を觀る日の近きを期したいものである。宜敷會員諸氏は此時に當り緊褌第一番此大運動に努力せられん事を切望する次第である。

編輯の後

△劈頭第一會員諸氏へ御報告すべきは本部伊藤主事御親父樣病氣に罹らせ鄕里久留米に御養生相成居候處病遂に革り遂に客月七日午前二時御逝去遊ばされし儀に有之候。當時伊藤主事には地方有志の希望に依り出張辯士交涉並に事務等にて多忙なりしが爲めさは云ひ乍ら御親父の齡既に八十に垂んさする事なれば御面會致度は山々なれど、本會を憫ふの餘り遂其機を逸し逝去の電報に接して後御出發相成られ候事は御無念の程に御察し申候。

△轉居屆の儀は必ず舊住所を御書き添え下被度、從來新住所のみを記載し御通知被下たる會員の方間々有之爲めに事務上甚しき不便利を感じ申候就ては何卒左樣御願上候。

△雜誌編輯に就き何なりさ御心付きの點有之候はば御示しの程願上候。御承知の通り本會は雜誌販賣を目的させざるもの、從つて會員諸氏の意見は充分尊重する筈に候間務つて御投書の程希望致し候(小林生)

大正五年十一月一日納本(每月一回一日發行)
大正五年十一月一日發行　一部金七錢
編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　小石川區大塚窪町一番地　久保民生
印刷所　神田區三崎町三丁目一番地　博信堂印刷所
發行所　芝區三田四國町二番地　廓淸會本部
電話芝五八五五番
振替東京二七〇七二番

●廣告主へ御用の際は必ず雜誌『廓清』によると御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA.

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone : Chigasaki No. 2

診察毎朝及毎夕　但祭日及日曜之他

院長診察月、金、木、午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附內）

電話番町六二番　**東洋內科醫院**

院長　醫學博士　**高田畊安**

電話ちがさき二番　**南湖院**

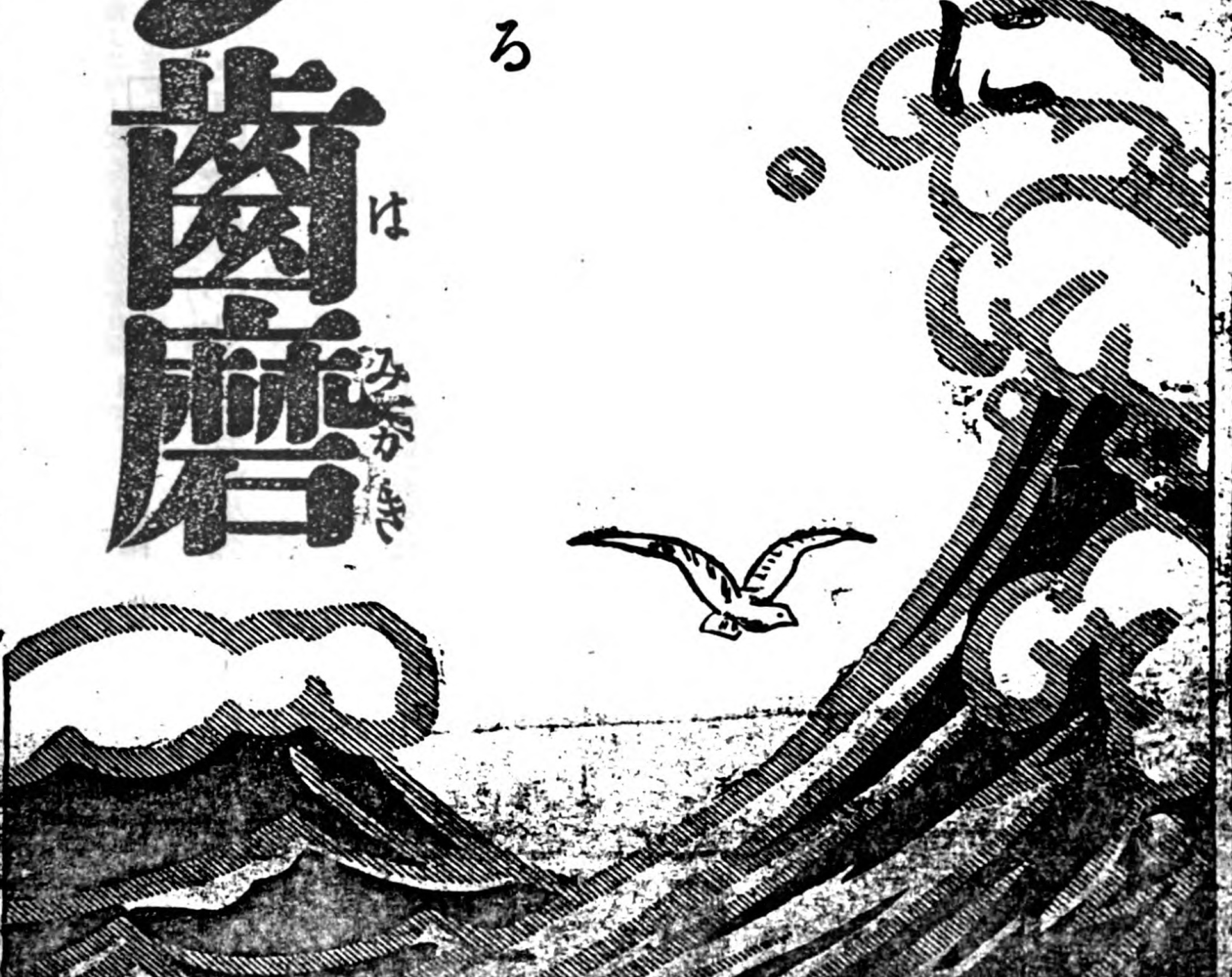
神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

診察毎朝　但祭日及日曜及土曜之他

化學的に

齒を強く
美しくする

クラブ齒磨